



幼馴染の♥ギャル
実は処女で妊
までさせてし



後編

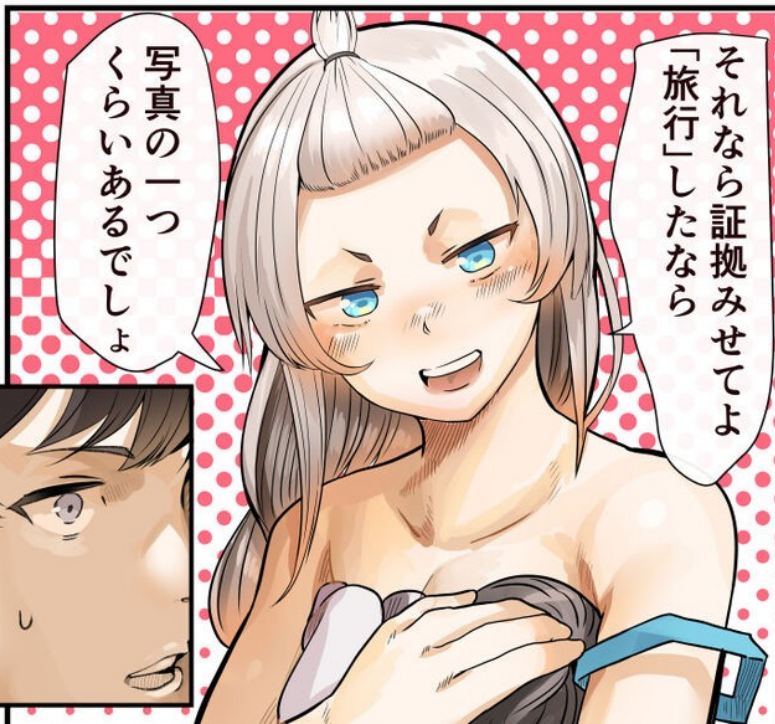
FIRST CHAPTER



そんなところ
行った記憶
ないって…



いや…
そりゃそう
なんだけど

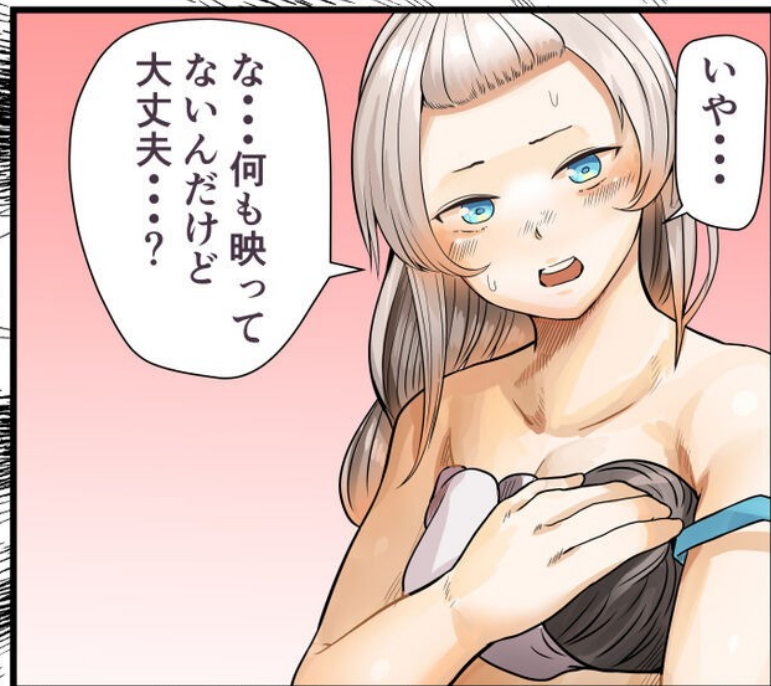
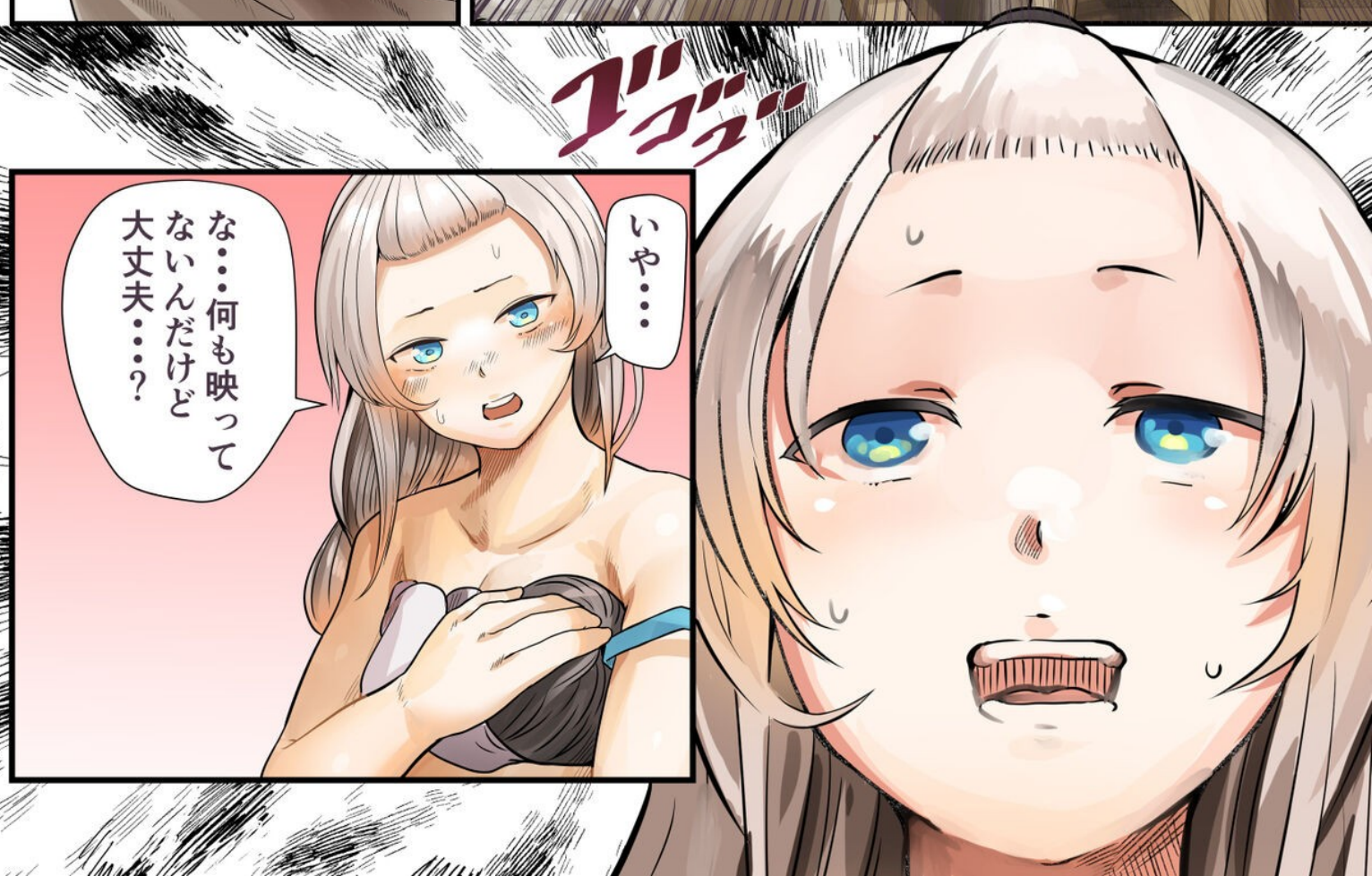
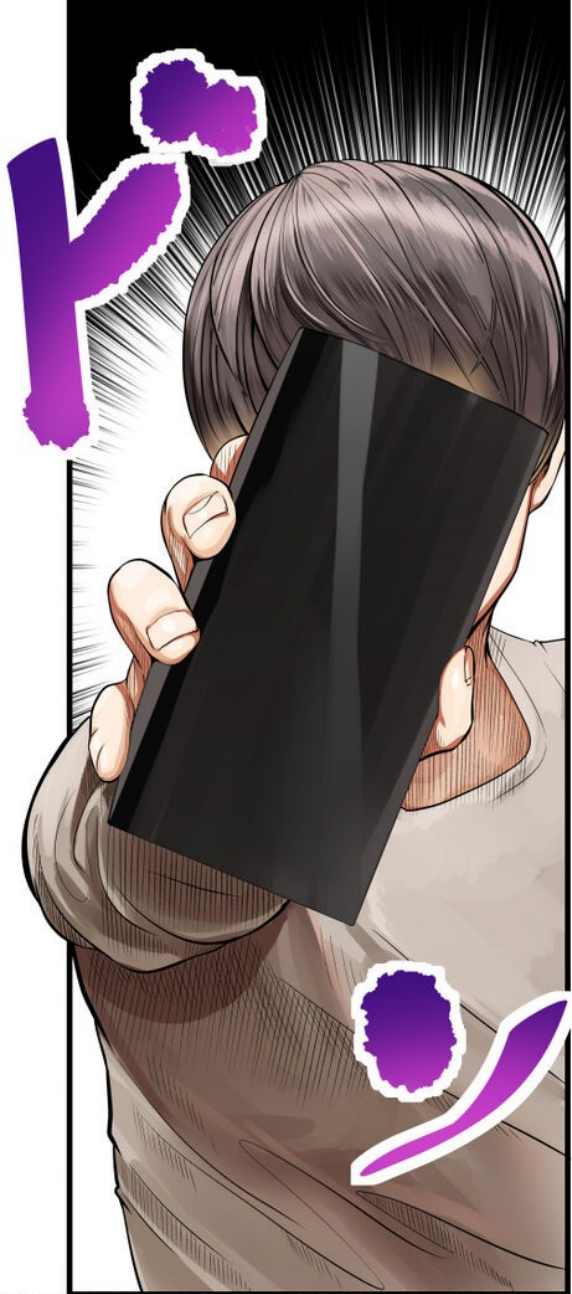


写真の一つ
くらいあるでしょ

それなら証拠みせてよ
「旅行」したなら



大体なんで
私の友達二人とあんたで
旅行なんていくのよ
おかしいでしょ





えッ

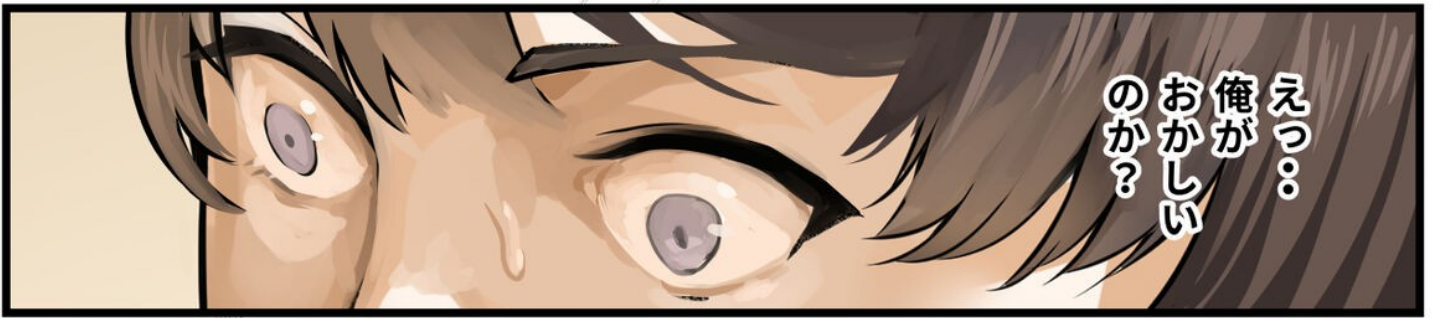


そ...
そんなはず...

いやっ
やっぱり
うつつてる



いやいや W
真っ黒 W
じゃん W



以降、この話を
することはなかった。
深掘すれば今の
幸せが壊れてしまっ
そんな気がしたからだ
そして……



泰雅あー
行ツケエエツツー

だんごどろかい
2024年

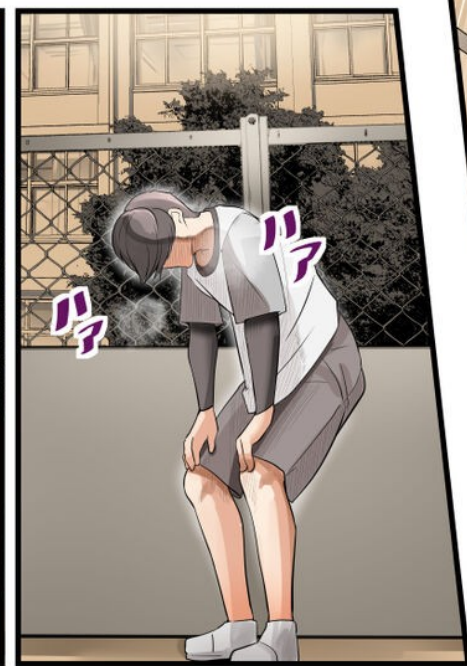
そのまま
ぶっちぎれえつ

ザッ

ザッ

ザッ

ザッ





父兄マラソンの泰雅まあまあかっこよかったわよ

「まあまあ」ってなんだよ一位だったんだぞ

最高にかっこよかっただろ

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ



はしゃいでないわよッ

はいやめたね

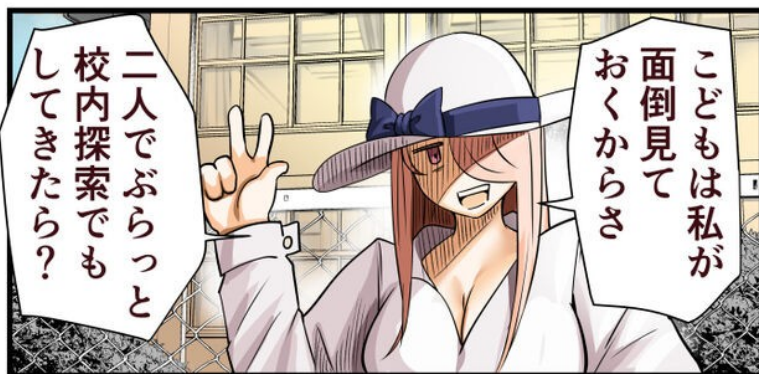
ぷぷぷ



なんだよ「ヤッター」ってハしゃいでたの知ってるぞ



ちよっとね





えっあ……
ありがとうございます



あっこれ
持って行って
「おみやげ」だから

そ……それじゃあ
お言葉に甘えて



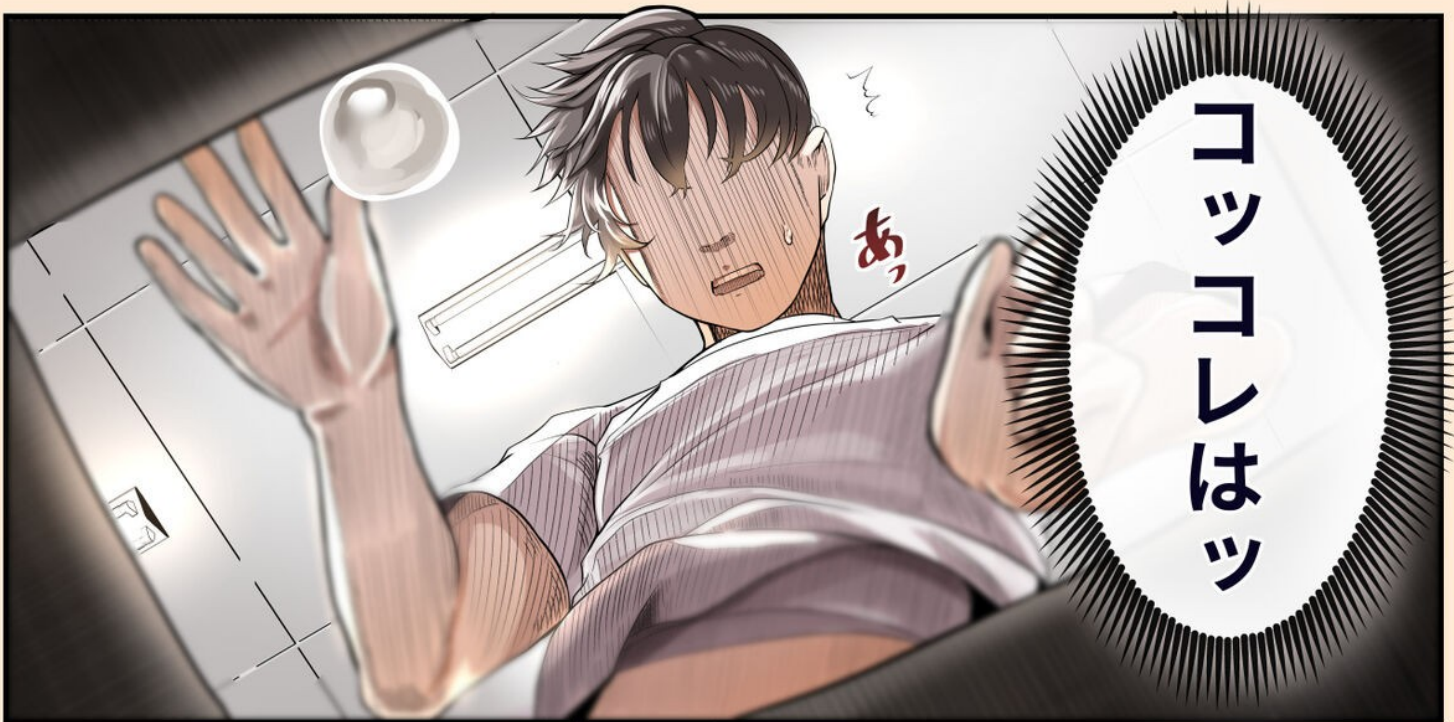
教室だ
入って
みようよ



うん

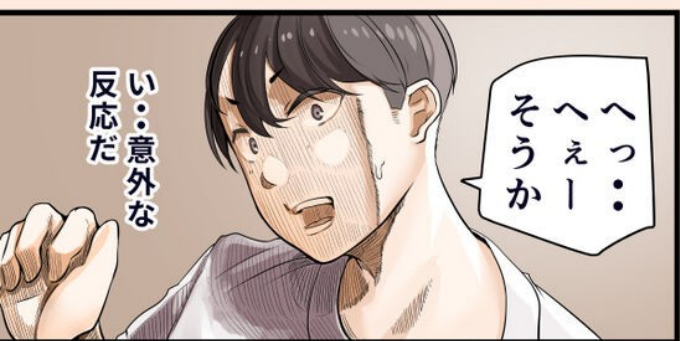
なんだが
学生の時を
思い出すね







いつか着てみたいって
思ってたんだよねえ
かわいいよね



い：意外な
反応だ

へっ：
へえー
そうか



だからって
こんな場所で
着替えたり
しないけど……

そっ
そうだよな

もしかして
叔母さま……



万稿痔学園の
じゃん



そ…そーいった
意図がないとは
言えないなあ



私にそれを
着させるために

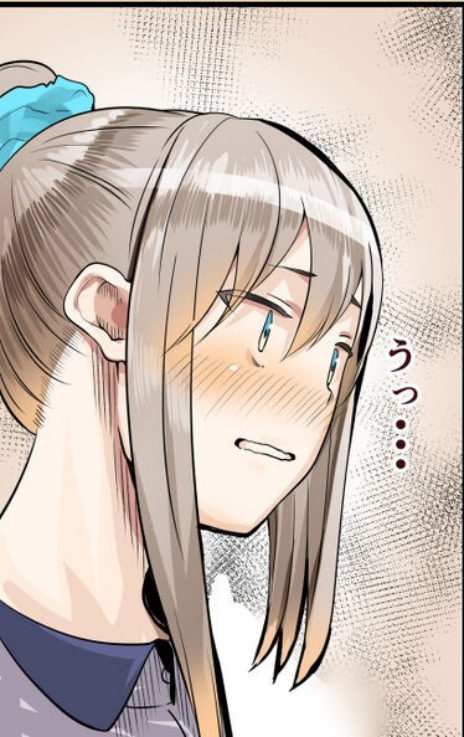
あの紙袋を
渡してきたの？



まあ…
おっおれは
花梨に
着てほしいけど
逆バニー…



えっ！



うっ…



ははっ…
そうだよな

ごめんっ



い…いつほかの父兄が
来るかわかんないのに
そ…そんなの
着れるわけないでしょ

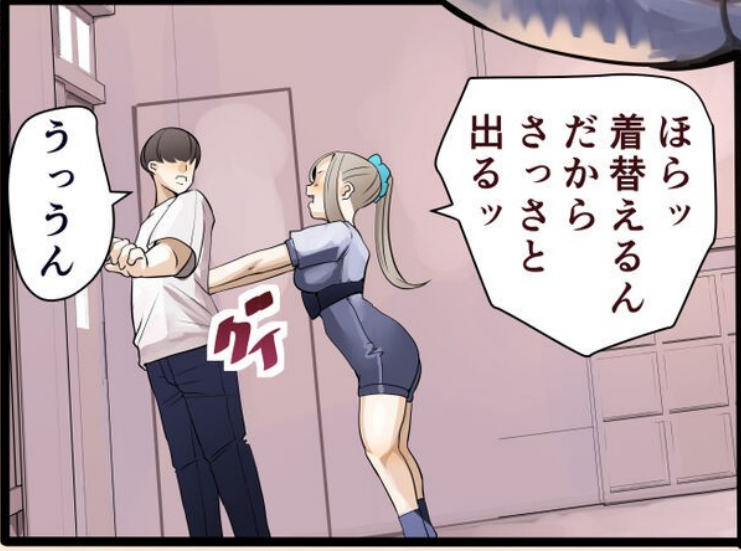


着てあげるわよ

仕方ないから

オエ

ソレ



うううん

ド

ほらッ
着替えるん
だから
さっさと
出るッ



ド

キン

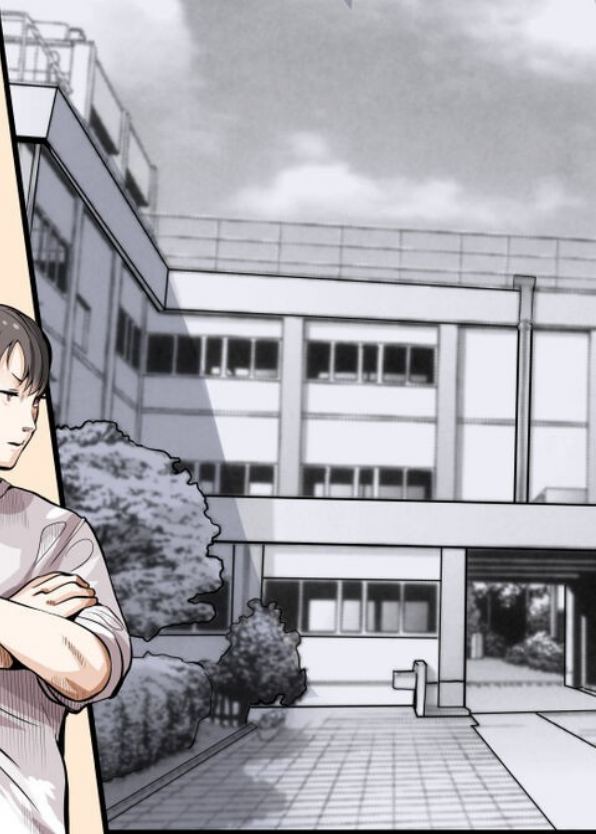
え〜〜〜ッ



えっ...



しかし
遅いなあ
何かあったんか？



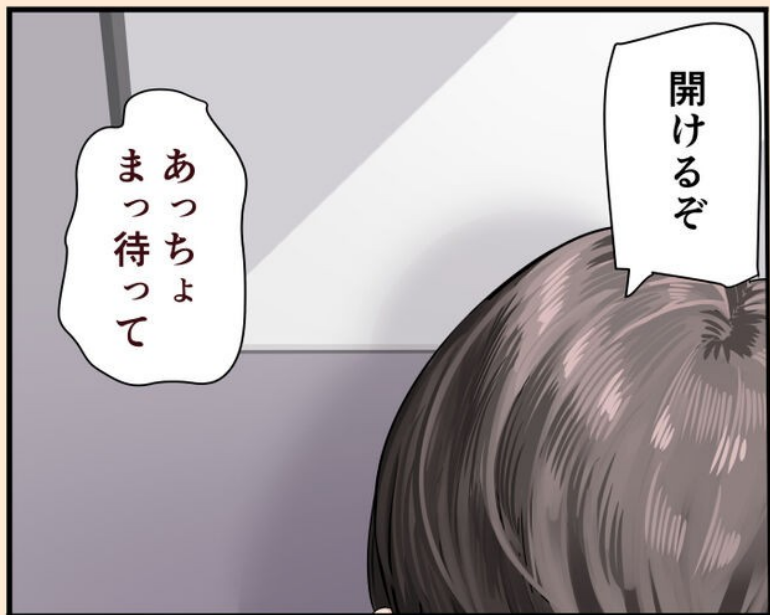
おい
花梨
大丈夫か？



カッ
カッ



...



開けるぞ

あっちよ
まっ待って

ビク

!!

ちよん

ブルン

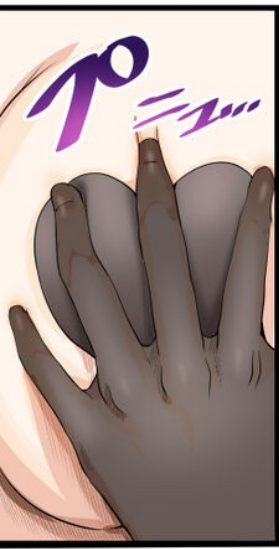
チン

なっなに
開けてんのよ

!?

ビク





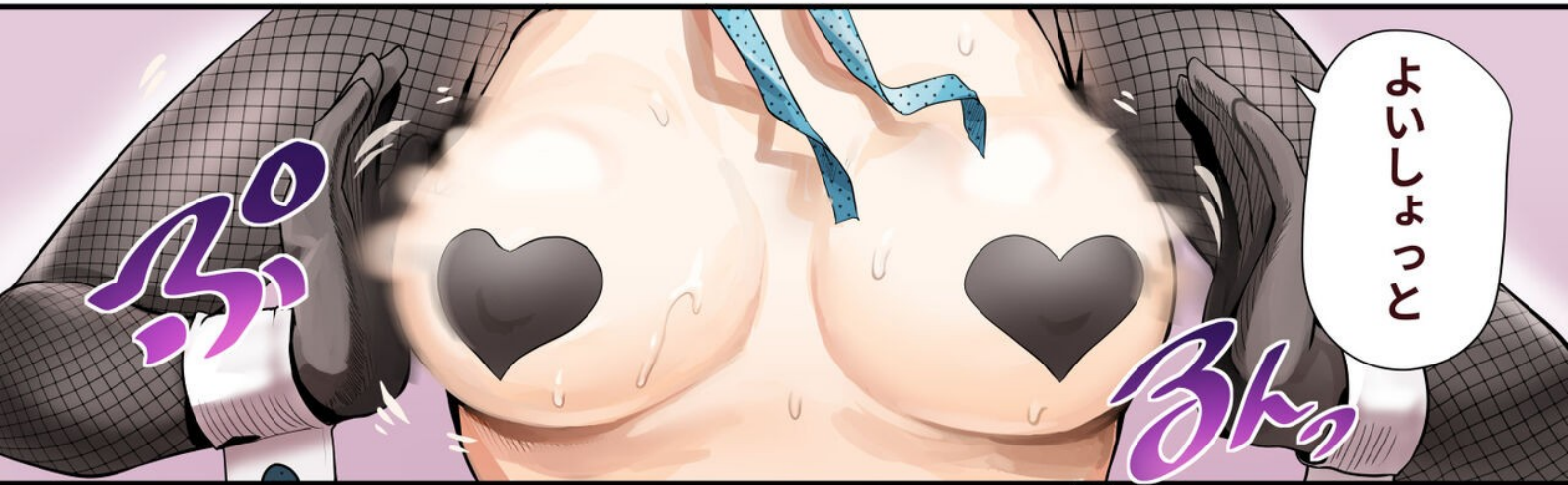
スッ
スマン…



ちよつと待ってって
言ったじゃんッ
まだ着替えの途中だよ



まったく
泰雅はえっち
なんだから



よいしょつと



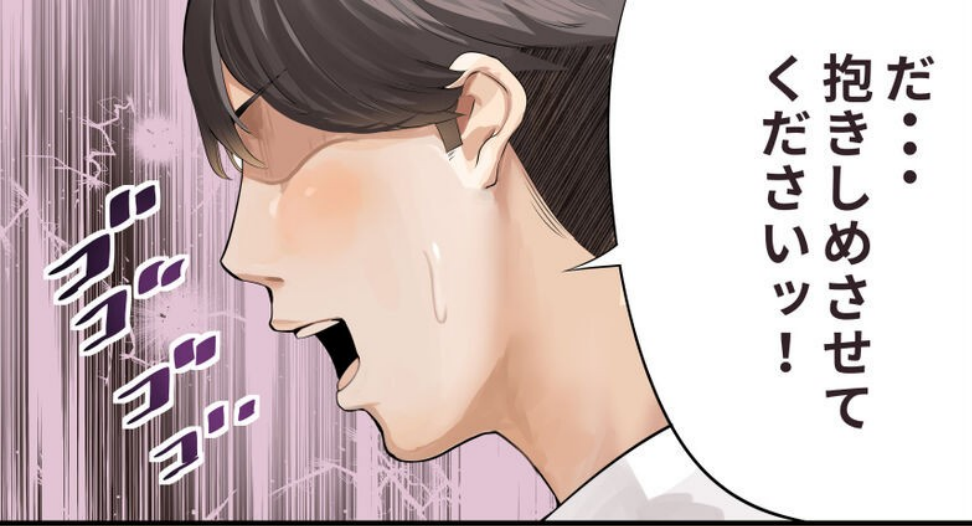
な…「なんでも」!



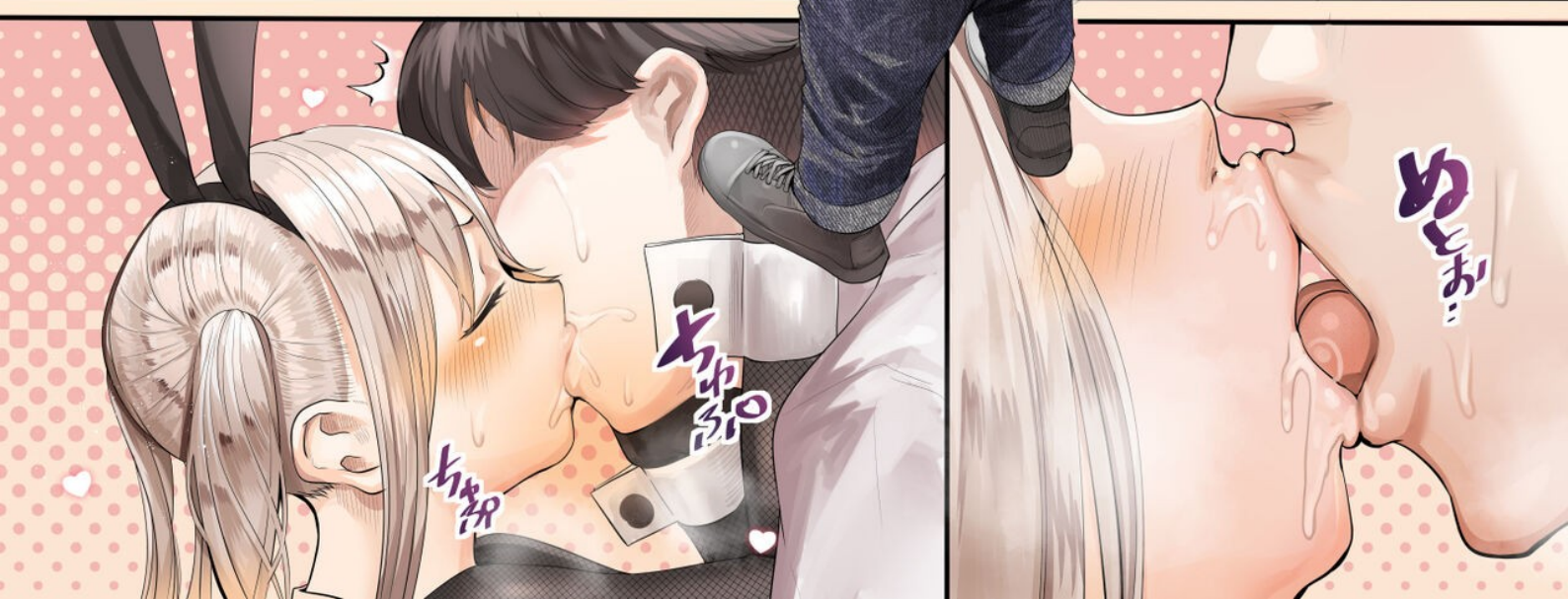
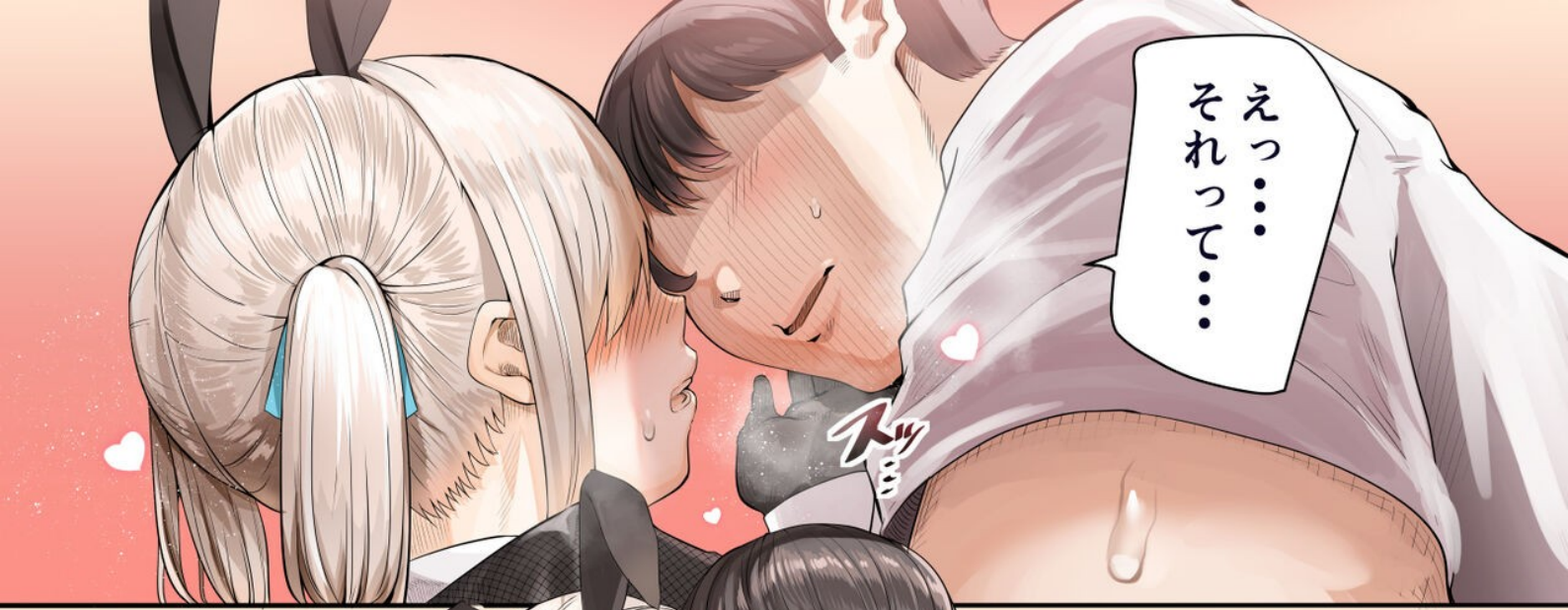
あつ…そうだった
今日の競走で
勝ったご褒美を
まだあげてなかったね

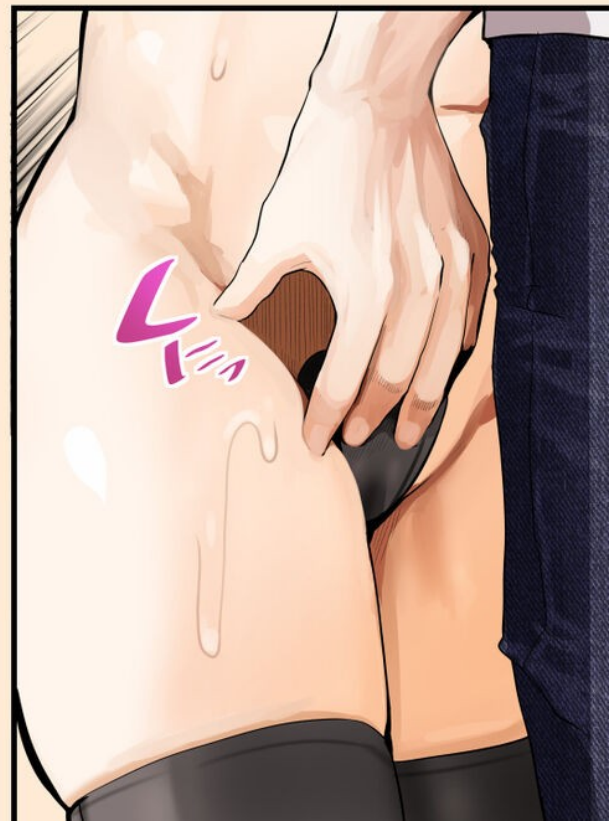
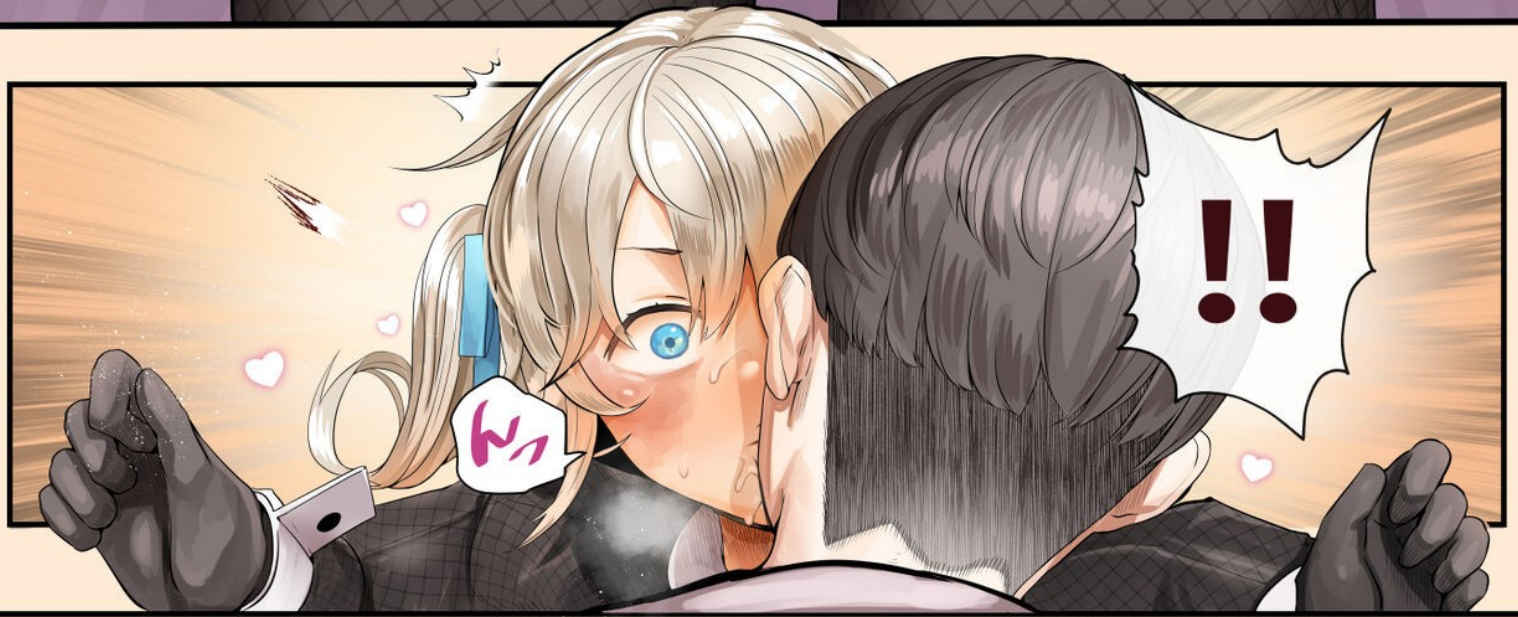
な…「なんでも」
要望言っているよ

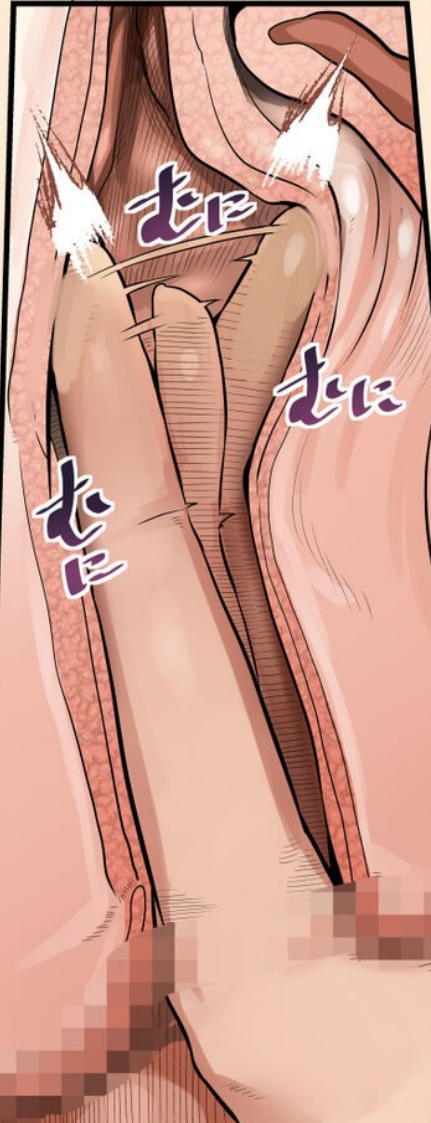
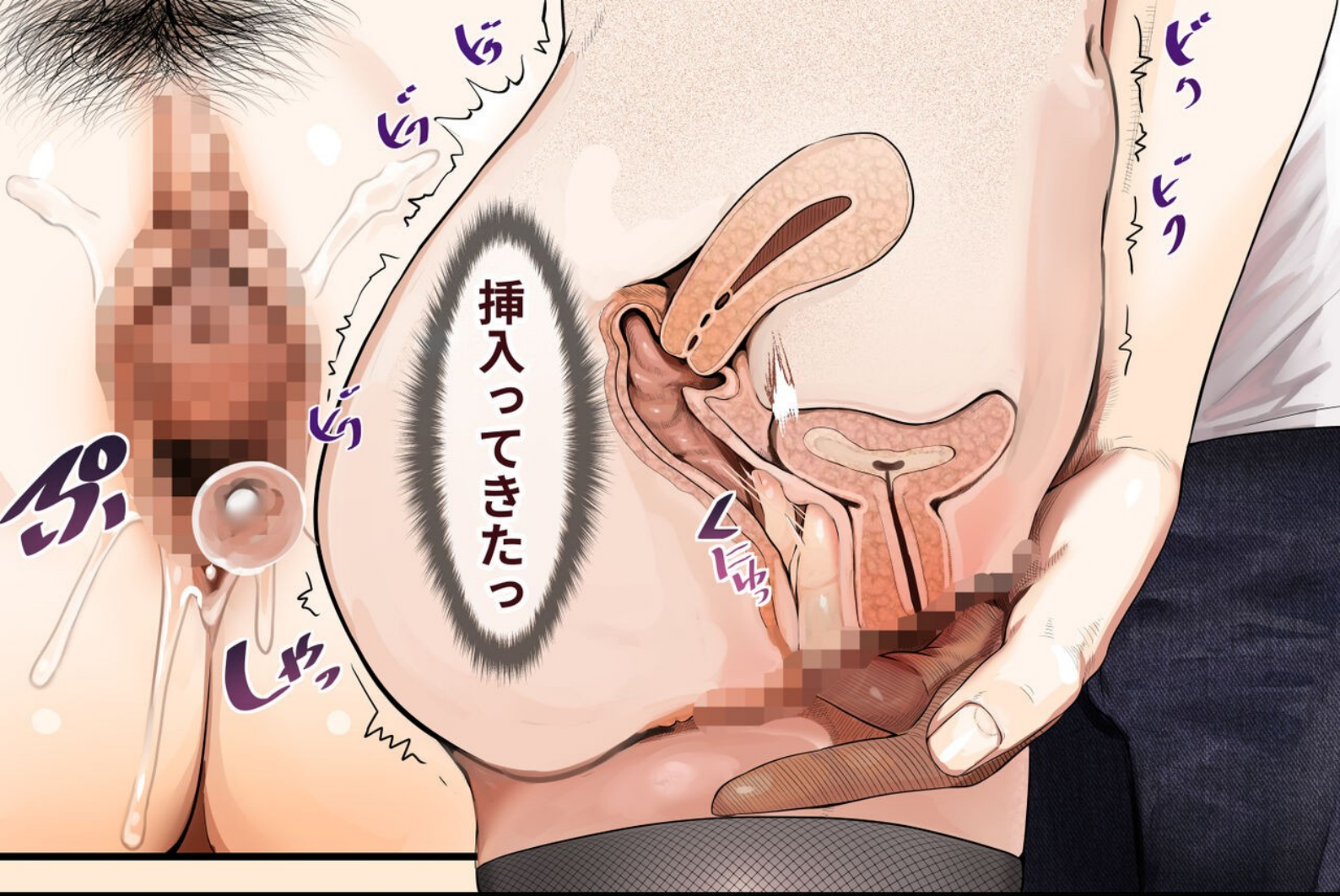


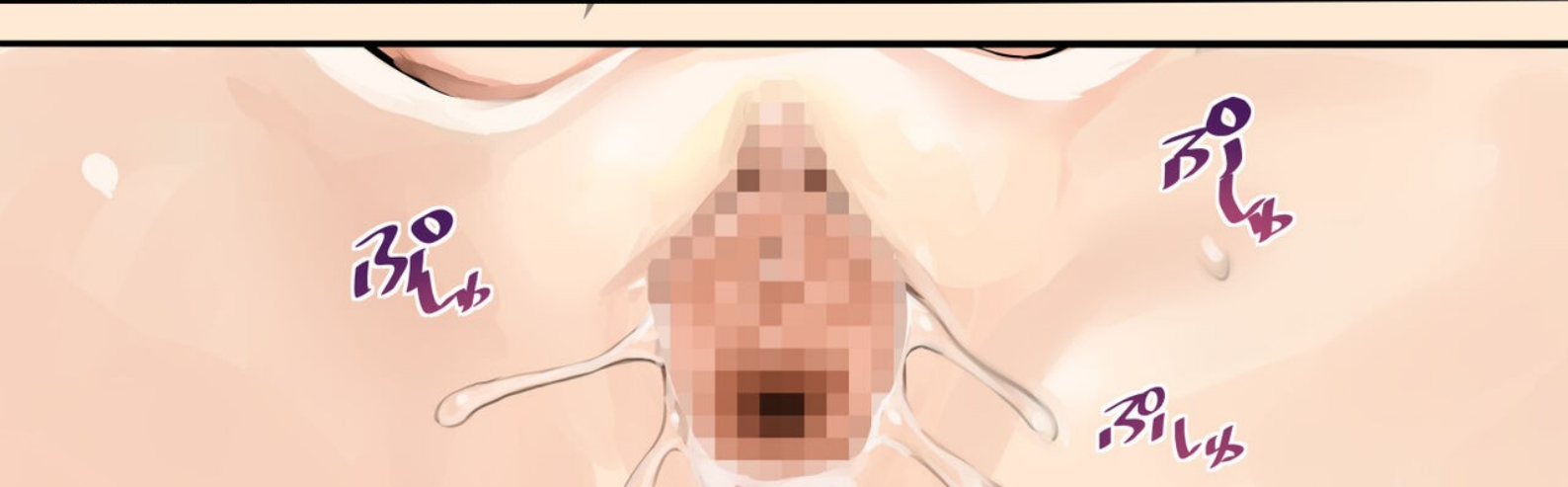
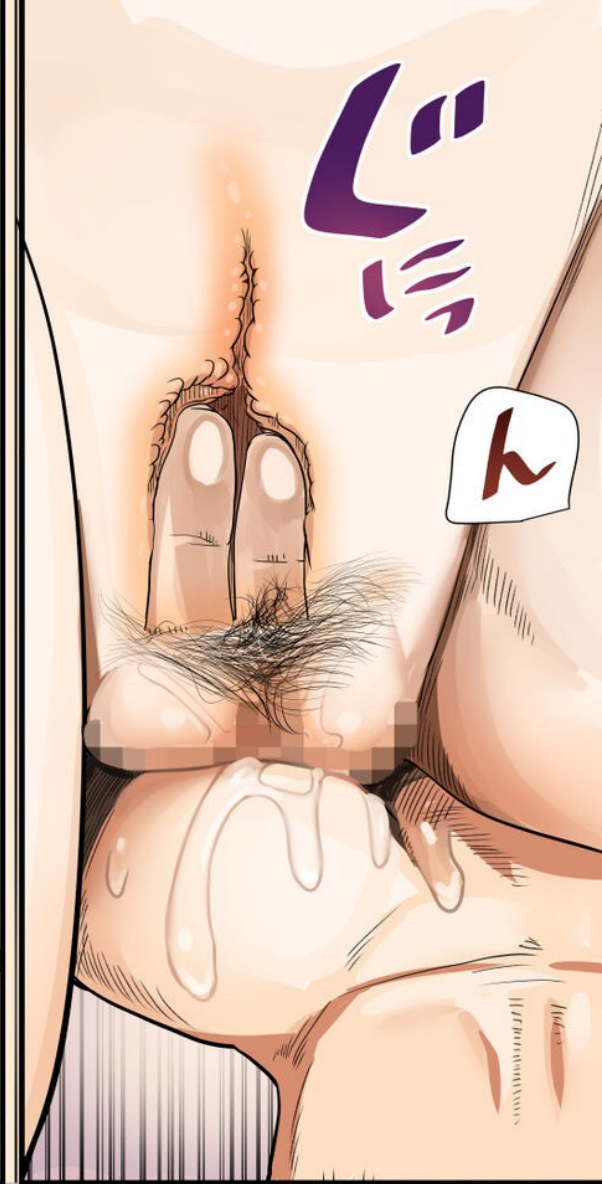
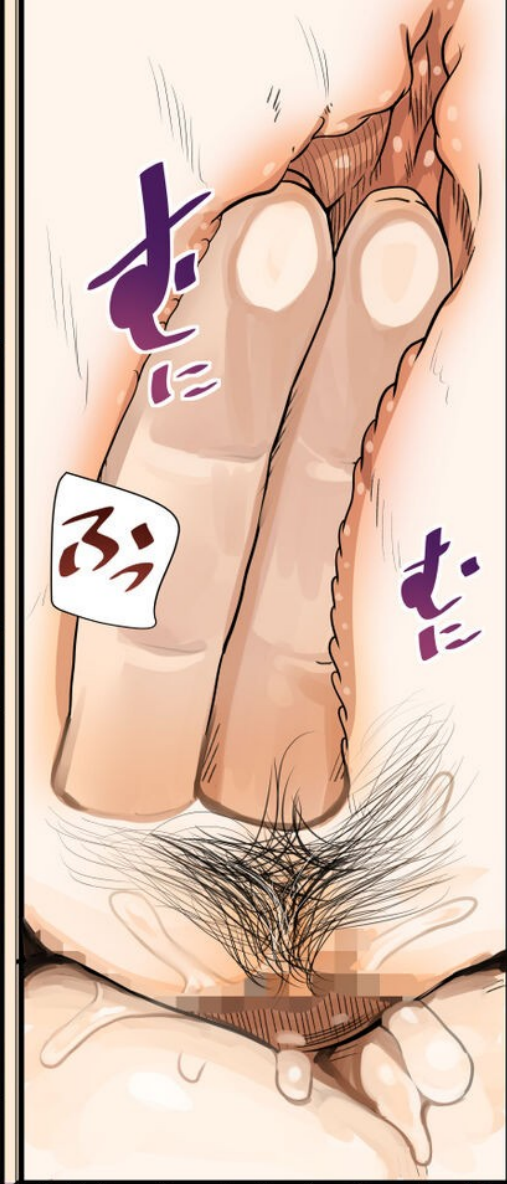
















ほらっ花梨
見てよ

すげえ
糸ひいてる



ぽっ

ん...



ホント
デリカシー
ないんだから

ん

ん



もうッ
見せつけなくて
いいからっ!



ほら
続き
しましょ

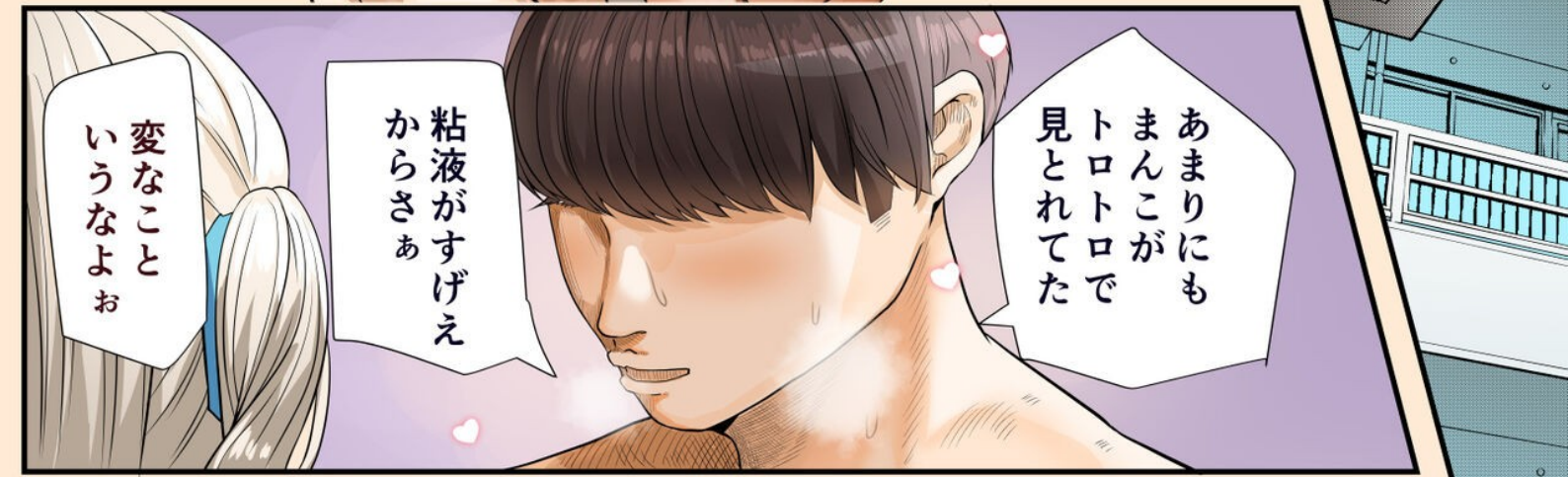
ん



ちよ
ちよ
ちよとッ

じっくりマンコ
見つめすぎっ！

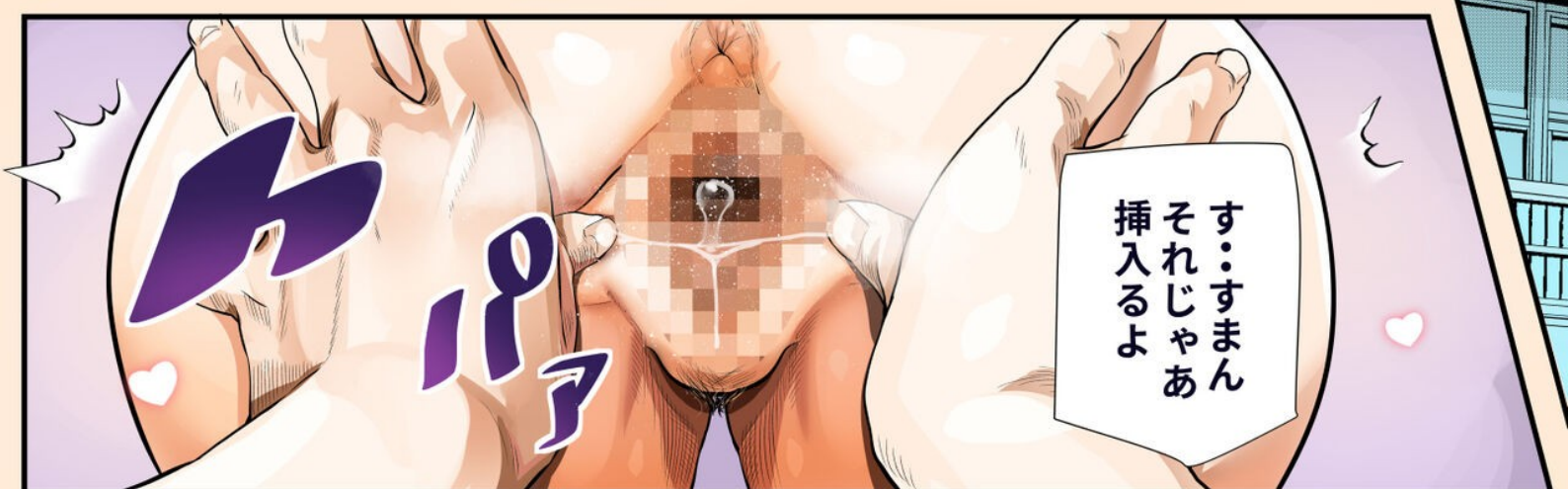
ごめん



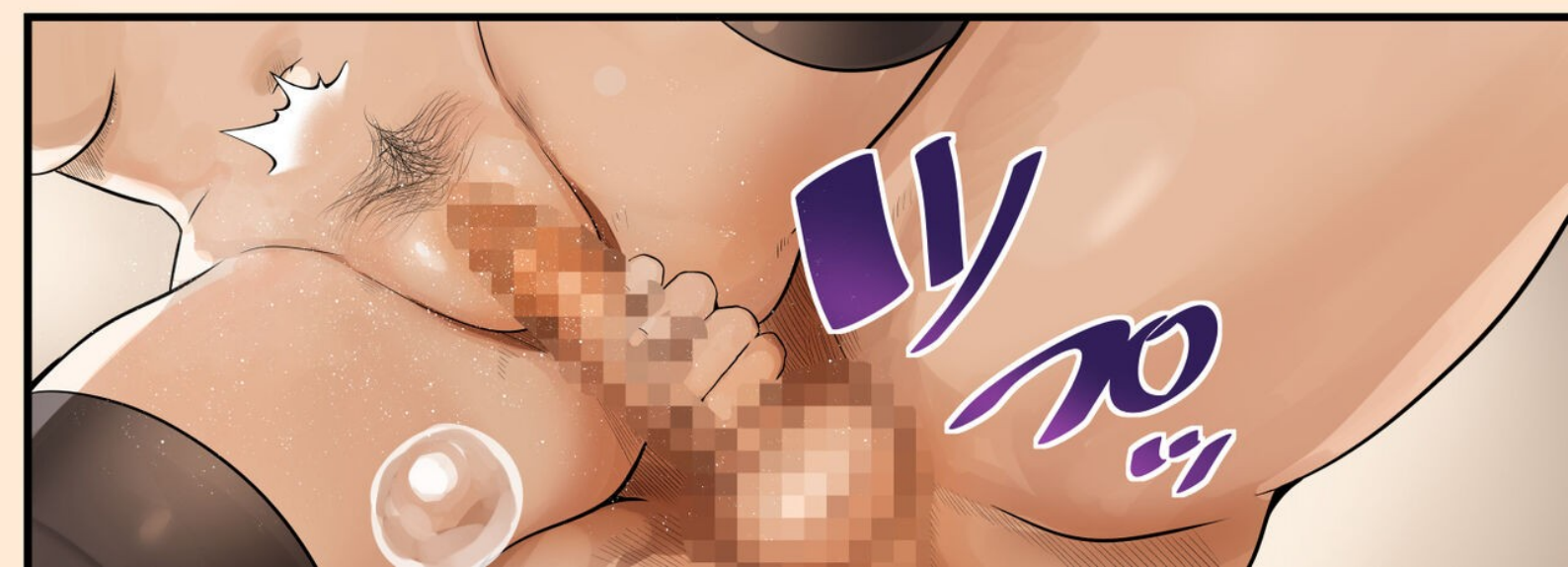
あまりにも
まんこが
トロトロで
見とれてた

粘液がすげえ
からさあ

変なこと
いうなよお



す：すまん
それじゃあ
挿入るよ



リッ



あッ

あッ
70
70



んあッ

513



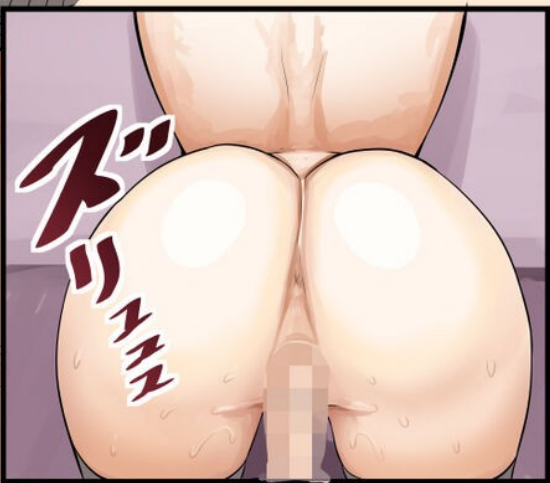
あっ



ちよ
まっまっ
って



ゆっくり
うっ動いて…



ズン
ズン





ズッ

へっ？

花梨ッ
ケツあげてっ

はっ



こんな痴女じゃん
エロ配信者じゃん
でも...

校内でこんな恰好して
チンコで膣内満タンに
されちゃって...

んんうーッ

よいしょっと

ハッハッハッ

気持ちいいっ...

ビク

ビク

ビク



はげしいッ

んあ

あっ...

はあっん

あっ



声...
でちやうど

ああっ

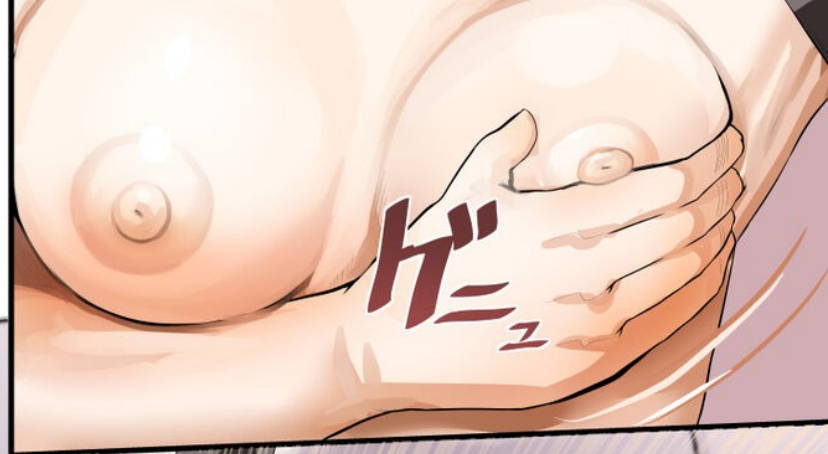
はげしいッ

はげしいッ

はげしいッ

はげしいッ

はげしいッ





おっちんこ
硬くなったぞ

興奮した？



じ

じ



今度は
私から
責めて
あげる

アッ



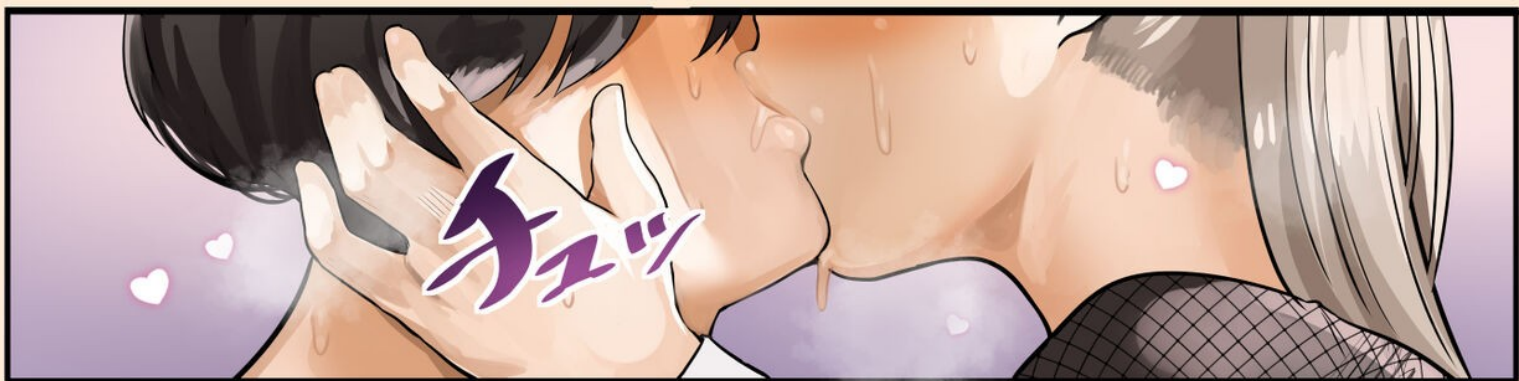
スゴッ

はぁ

はぁ

繋がってる
トコ
丸見えだ

じ



チュッ



ああ……
気持ちいい

んっ
あっ

んっ

んんっ

泰雅の唾液
おいし……っ

んっ

んっ

んっ

膣内でビクビク
ってなってる
そろそろイクんだ

んっ

このまま中に
いっぱい出されたら
って考えると
背徳感でまんこ
キュンキュンしちゃうっ

ぬっ

ぬっ

ぬっ

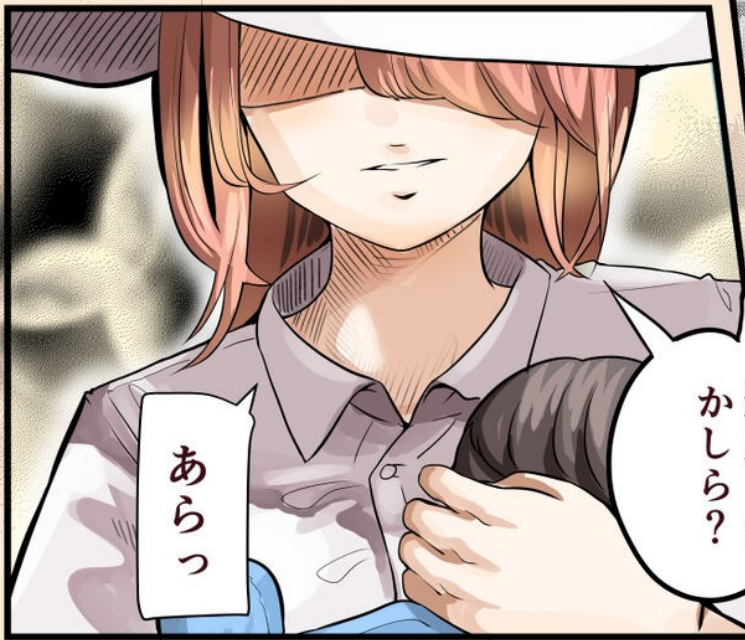
ほらっこれで
イツちゃえッ!

イクッ

ぬっ

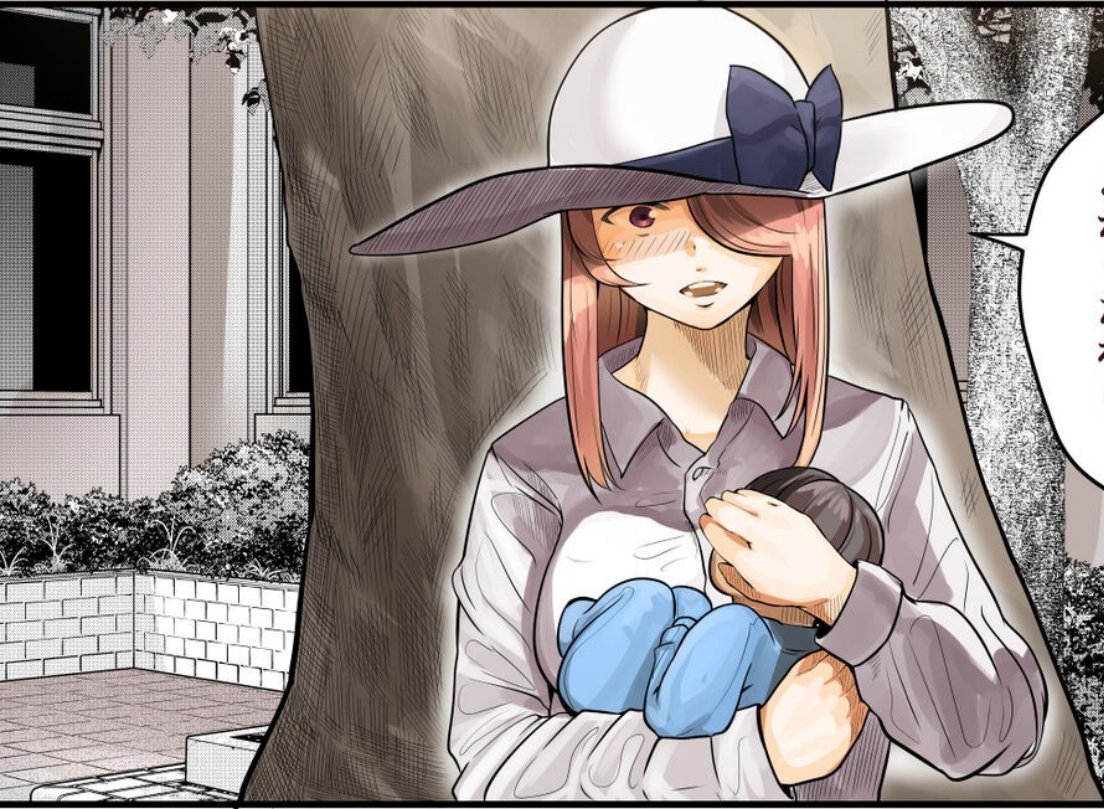






あらっ

満足した
かしら？



なんだか息が
荒いわねえ
「おみやげ」で
お楽しみできた
みたいねえ
よかったわあ

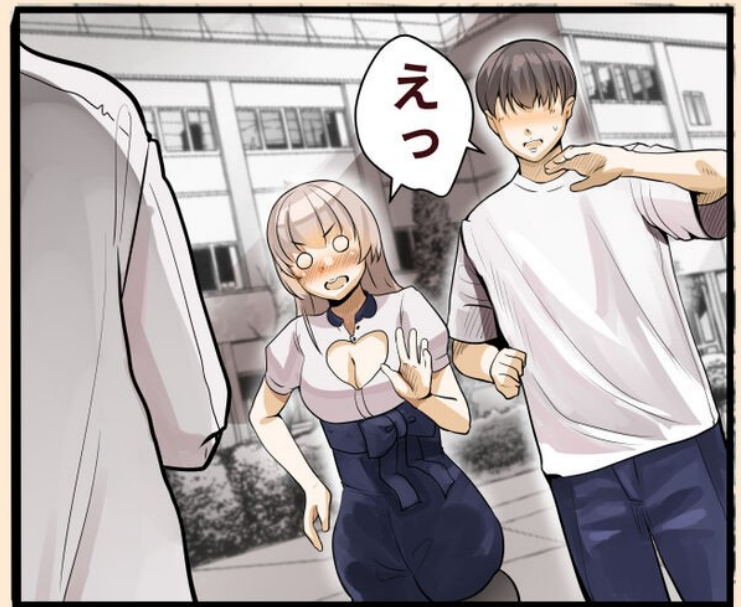


最初から…

いや
それは…

叔母様
やっぱり

今度は
旅行でも
行って
来たら？

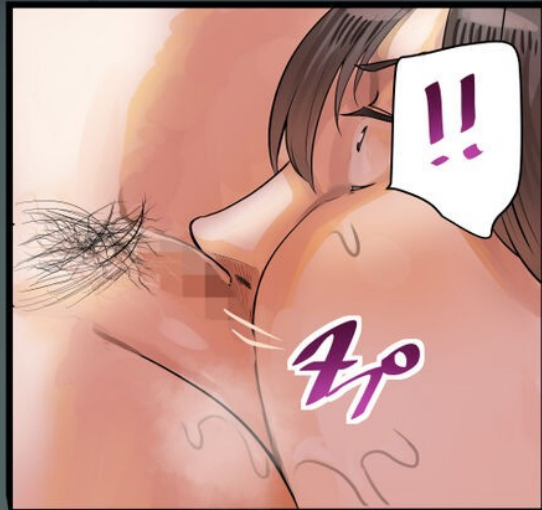
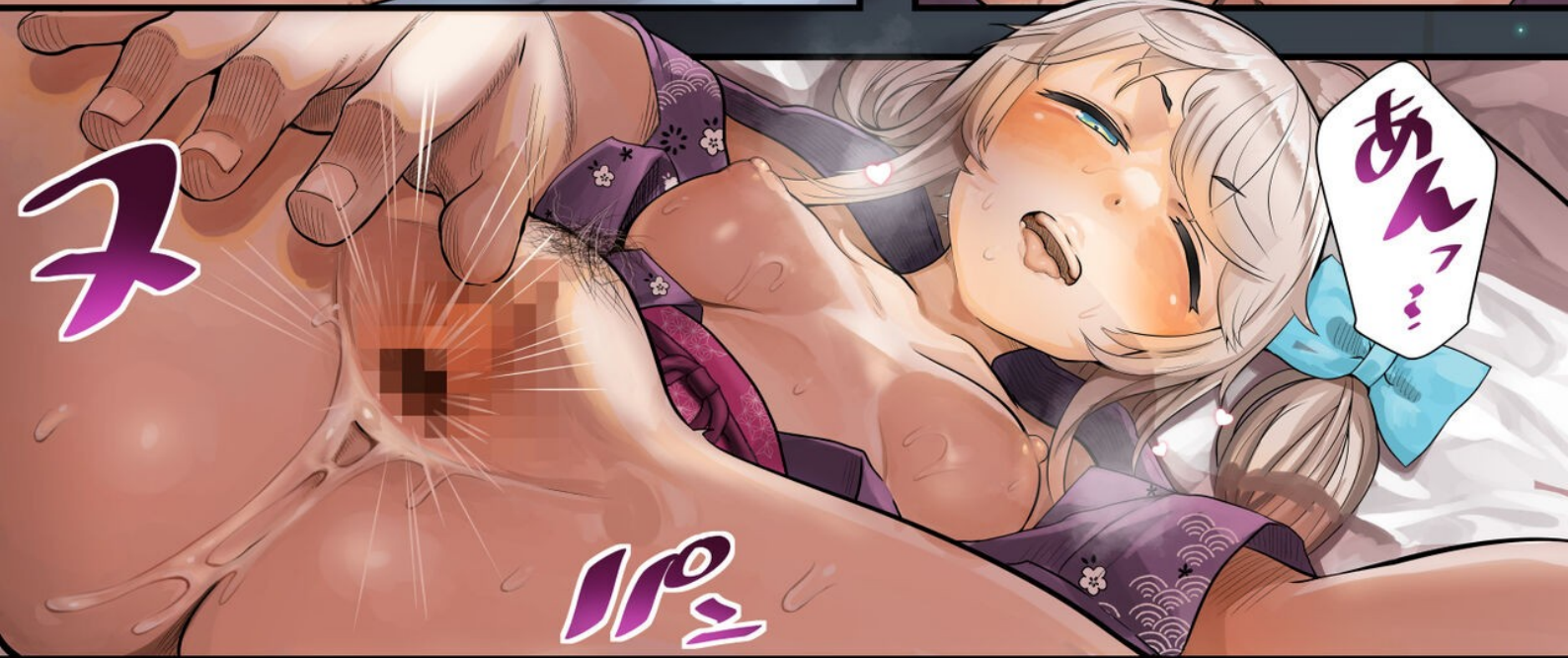
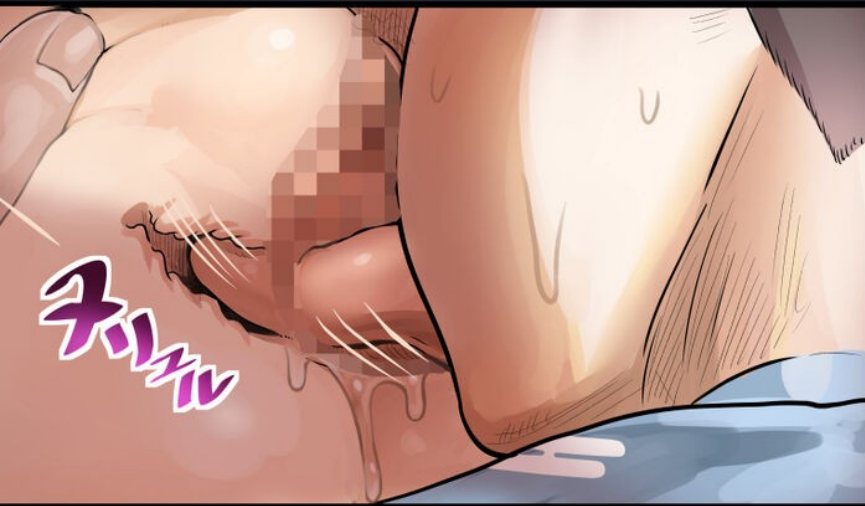


えっ



NEXT CHAPTER







あの運動会の後

叔母さんから

夫婦二人っきりの旅行

をプレゼントされた俺たち

子供の面倒ばかり見てもらって

申し訳ない思いが募るが

せめて思いっきり羽を伸ばそう

そう思っていたのだが



ふん

はあッ



ドゥッ

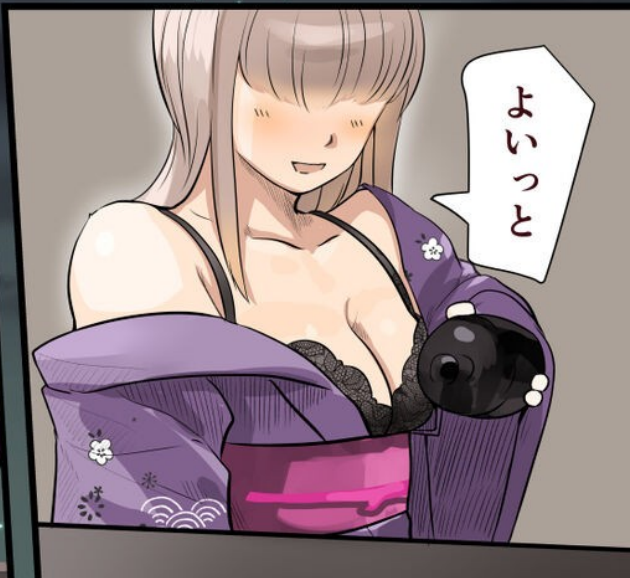
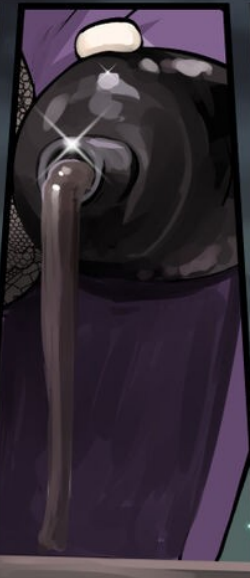
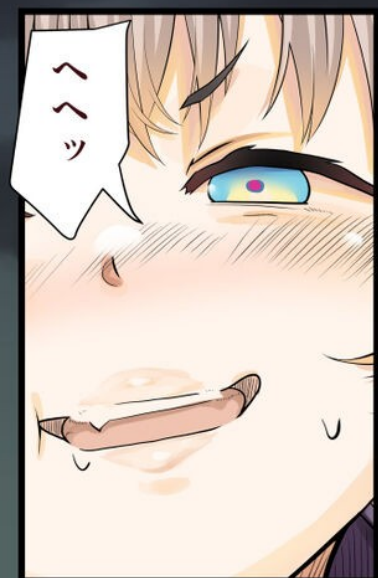
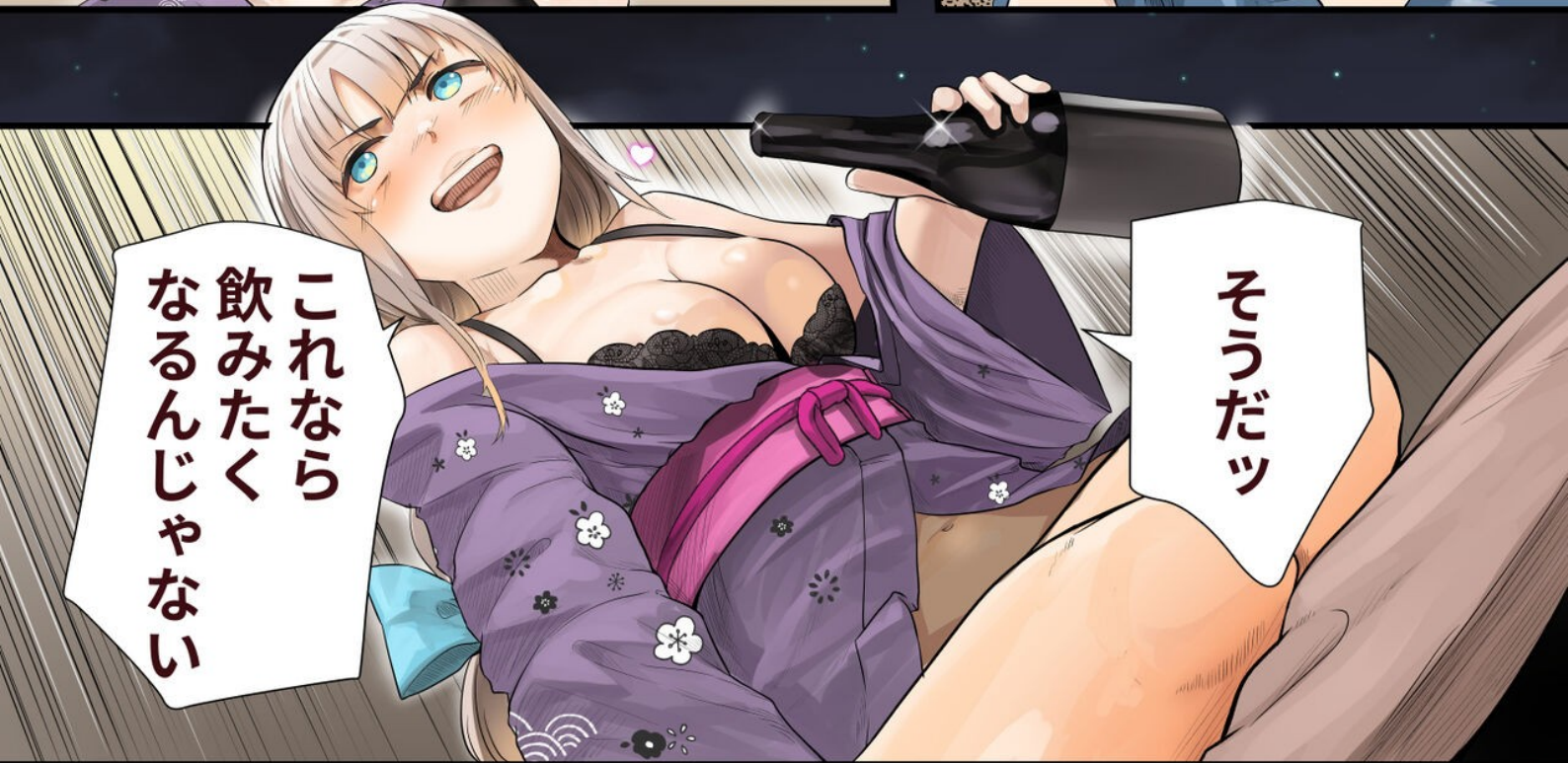
はあッ
おいしい〜

ポ
ワ
ワ
〜
ン

はあ〜

ト
ー
ト





ワカメ酒!



ほら：
飲んでいいのよっ



泰雅
ちよろスギ〜W
それじゃあ
お言葉に甘えて：







ああつ
もう無理
イクツ

あ

あ

あ

あ

ん

ん

ん

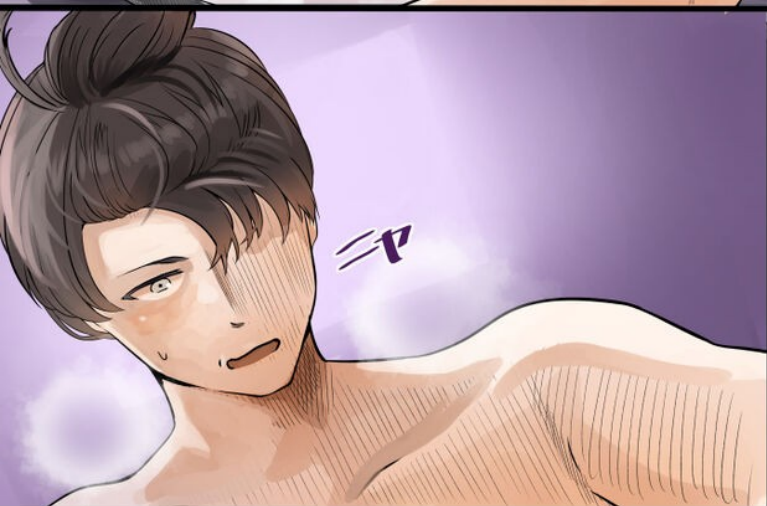
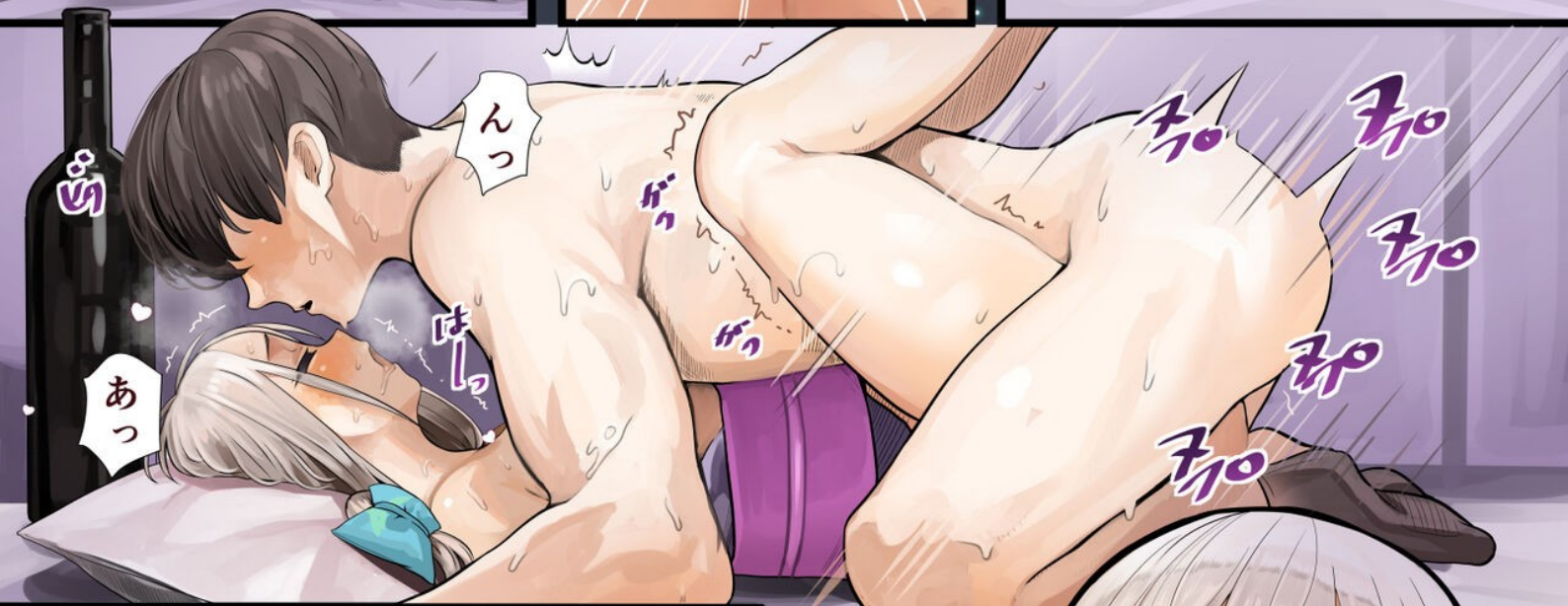
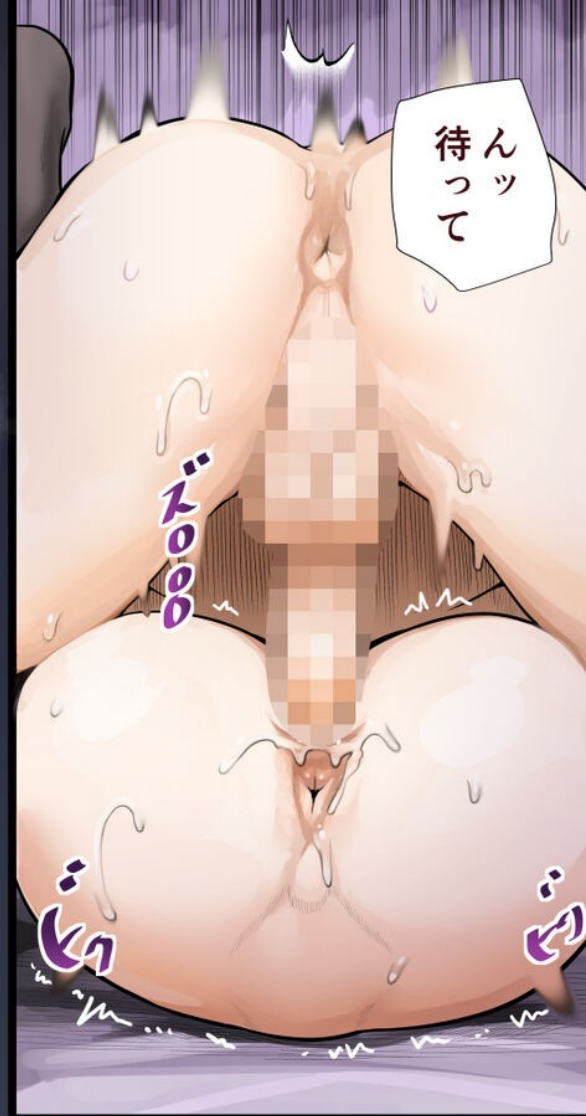
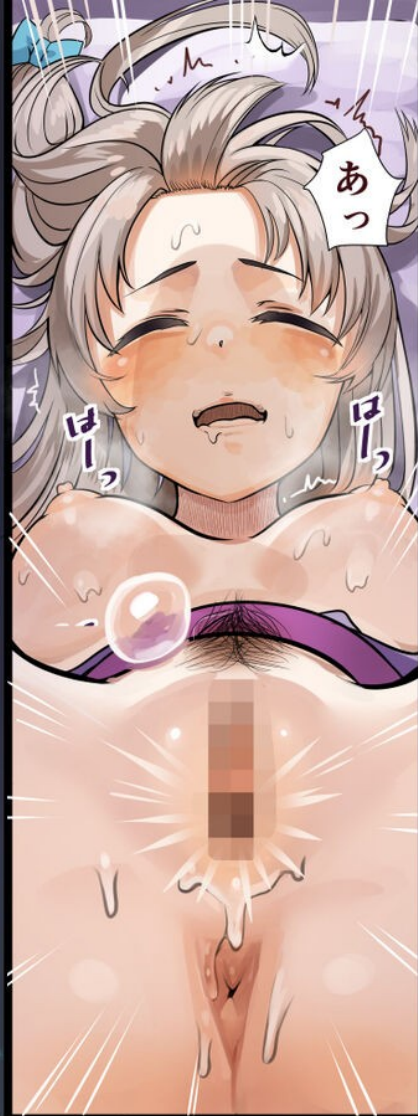
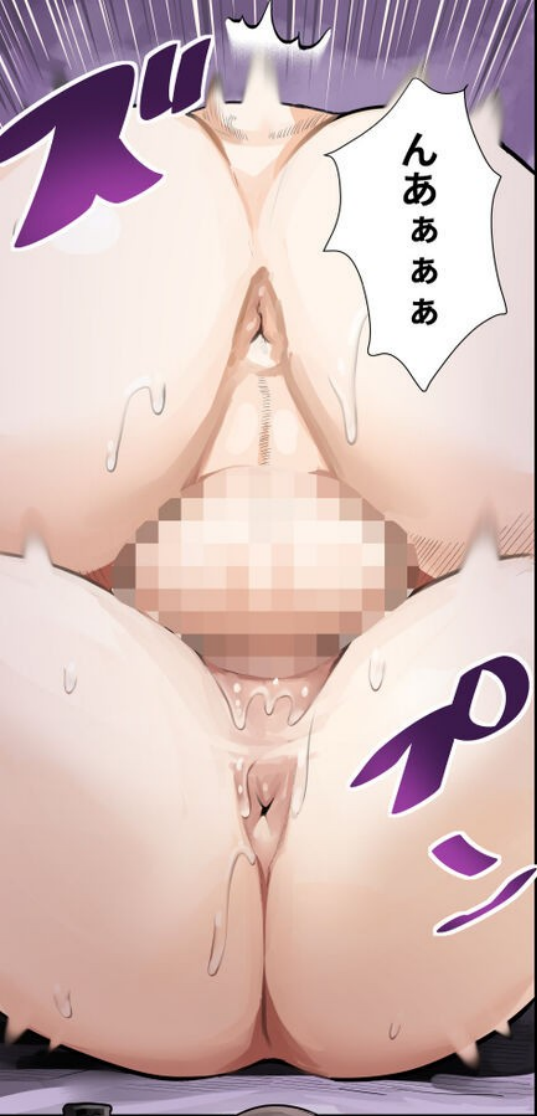
ん

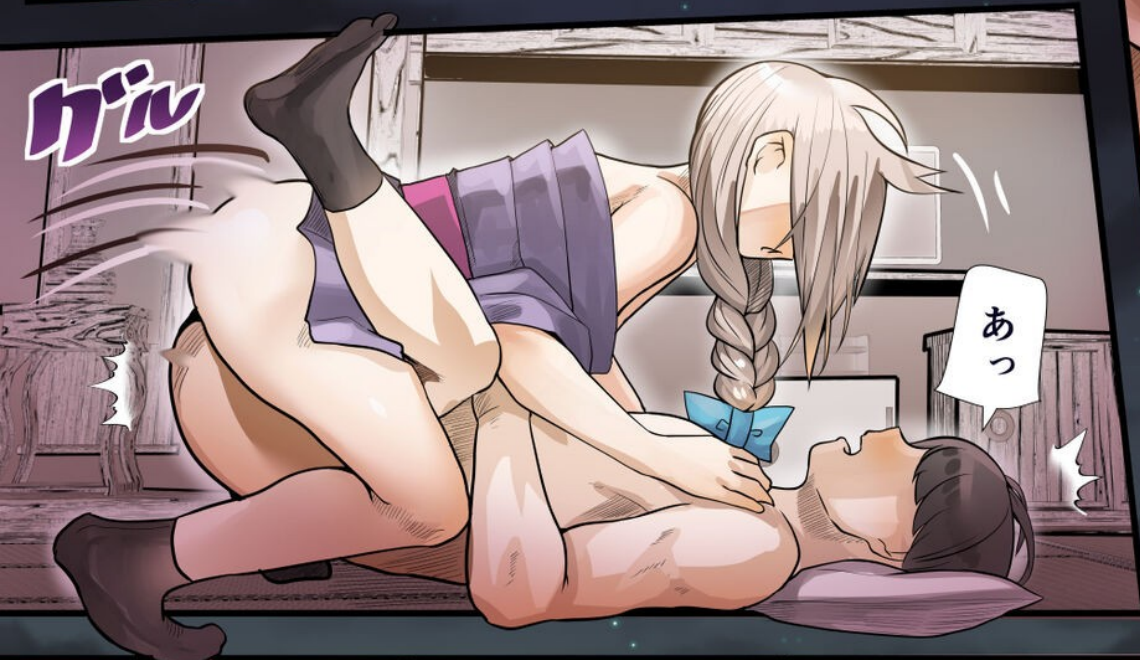
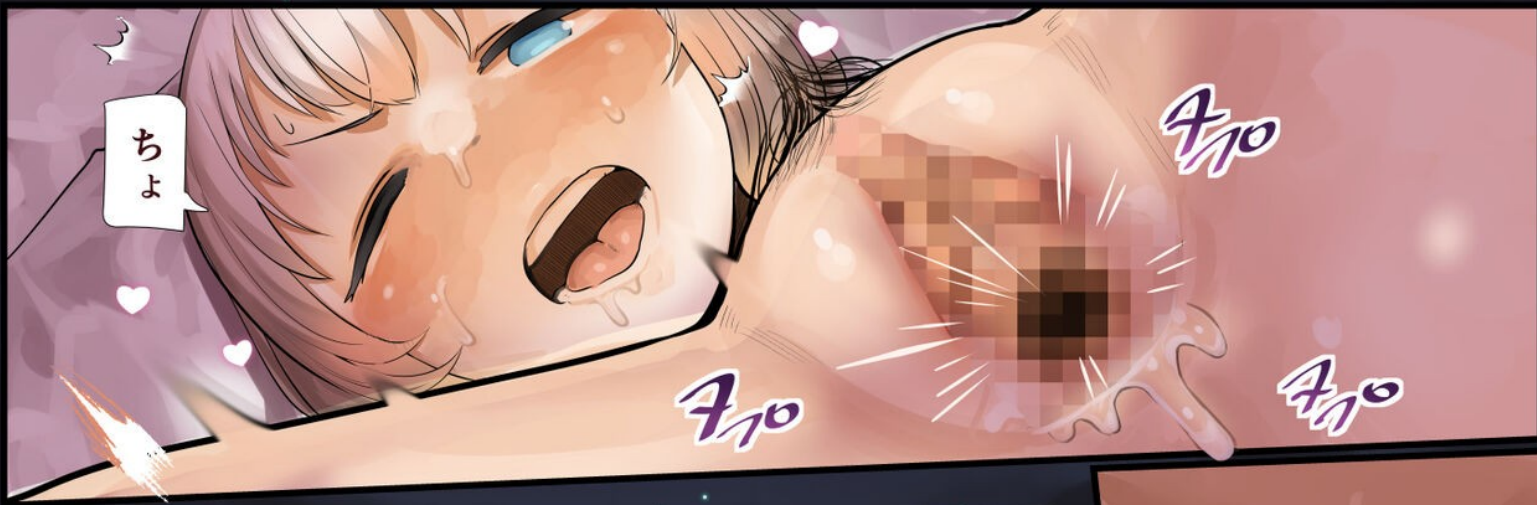
ん

ん

ん

ん









気持ちいい
でしょお

でもまだ
イっちゃ
だめだぞ

どお?
わたしの
種絞りプレス

ほらッ
ほらッ

フッ

ヒッ
ヒッ
ヒッ



そっ
そんな

む：
無理だよ

気持ち
良すぎる

ヒッ

ヒッ



いっよお
いっばい
膣内に出して

へへっ
ホント雑魚
ちんちんだね

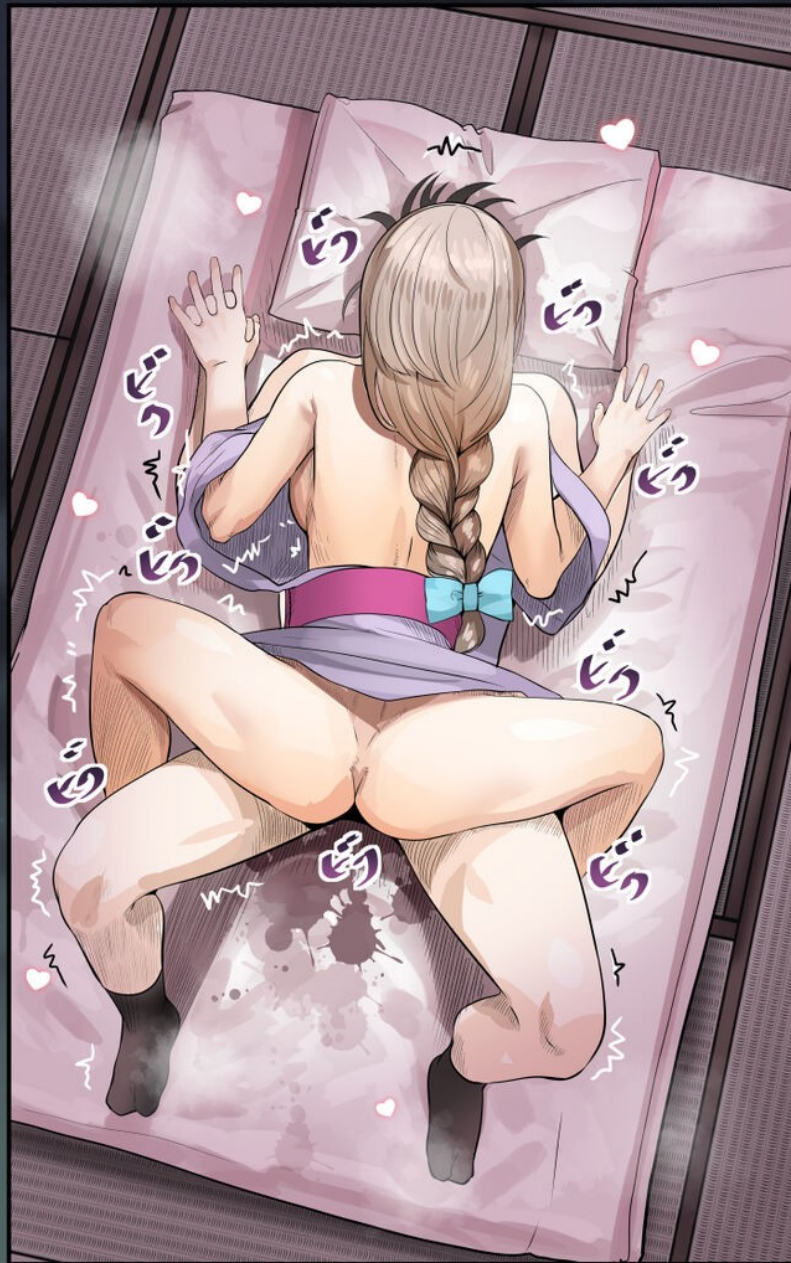


ごめん
もうっ
イク：

はッ

はッ







その後、特に何も起こらず

ただただ平凡な日々を

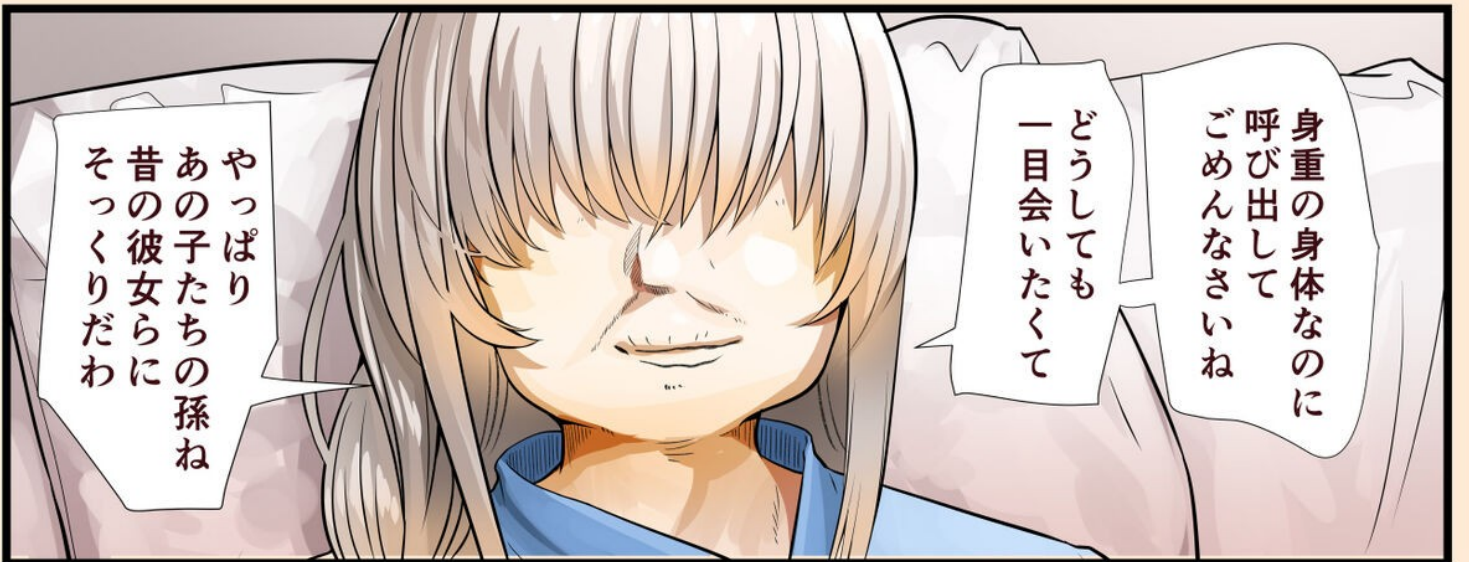
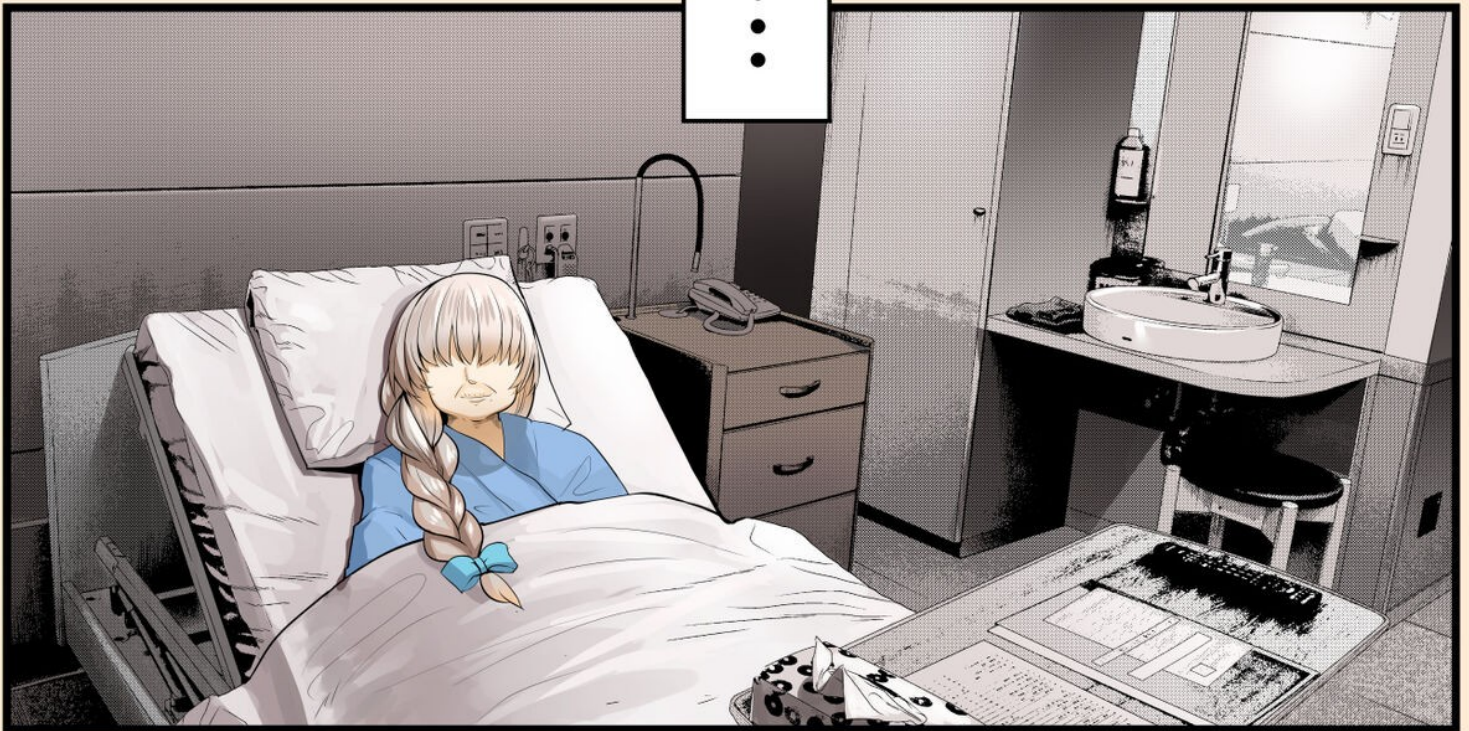
過ごす花梨と泰雅だった。

そして。。。





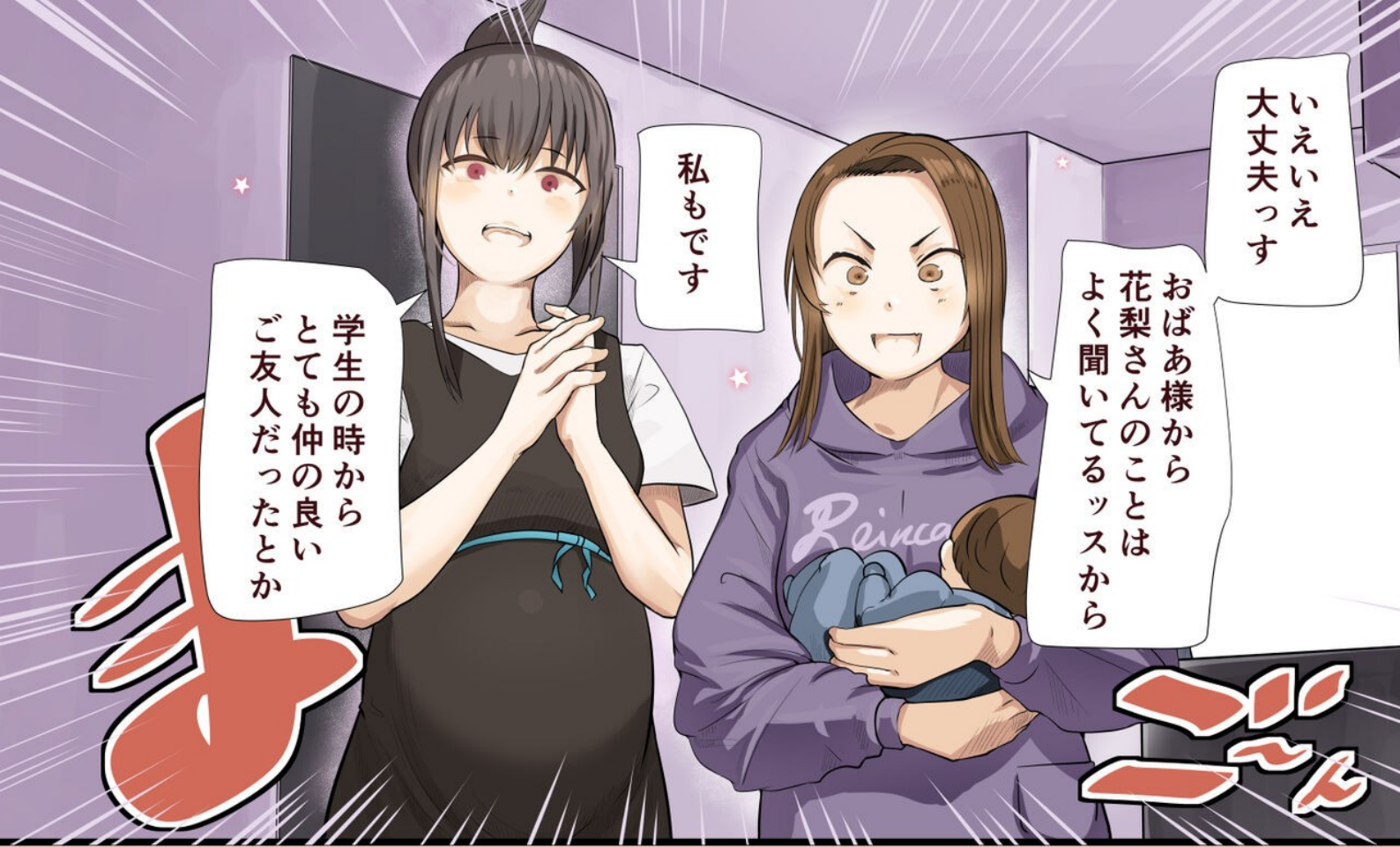
数十年後…



身重の身体なのに
呼び出して
ごめんなさいね

どうしても
一目会いたくて

やっぱり
あの子たちの孫ね
昔の彼女らに
そっくりだわ



いえいえ
大丈夫です

おばあ様から
花梨さんのことは
よく聞いてるツスから

私もです

学生の時から
とても仲の良い
ご友人だったとか



ただなんとなく
最後にあなた達に
会っておかなきゃって
そう思ったからなの



「仲の良い友達」ねえ

そうね
そうだったわ

今日はね
ただ……



また
会いま
しょう



今日は
来てくれて
ありがとう

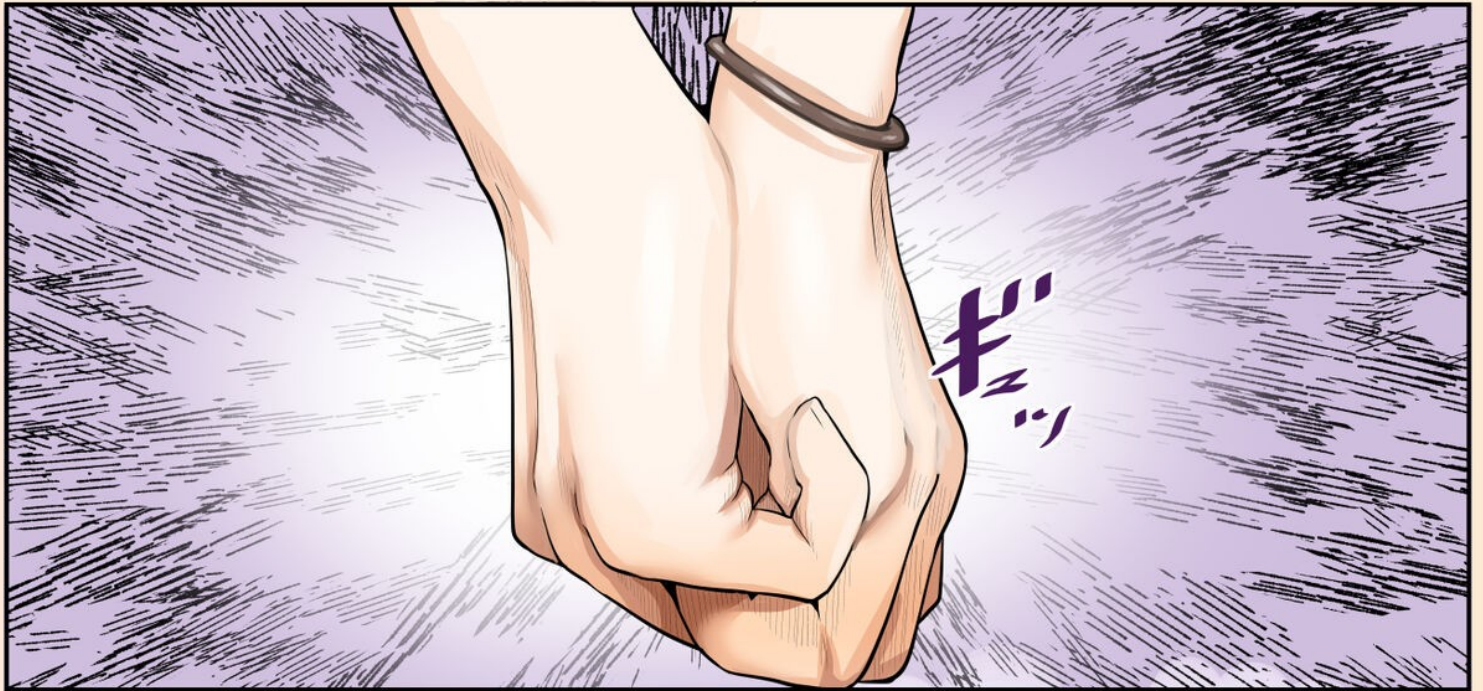
数年後

あんたら
ホント
仲いいわよえ

将来、
結婚でも
しちゃうかも
なあ

え

もっ
もっ



そうしたら
貴方と親戚
になるじゃん

なによお
きつと
楽しいわよ



END